

レンズ交換式デジタル HD ビデオカメラレコーダー

取扱説明書

Eマウント

目次

準備する

撮る/見る

編集する

メニューで設定を変更する

他機器と接続する

困ったときは

その他

各部のなまえ・索引

AVCHD ⓘ InfoLITHIUM L SERIES PROGRESSIVE



お買い上げいただきありがとうございます。
います。



警告

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NXCAM

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

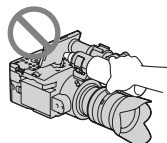
- 次の部分をつかんで持たないでください。



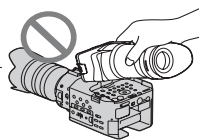
レンズ



液晶画面



マイクまたは
マイクホルダー



大型LCDビュー
ファインダー

ⓘご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(105ページ)。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 使用する国や地域の規制にしたがってGPS機能をお使いください。

液晶画面、レンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影・再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が消えたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



白や赤、青、緑の点

黒い点

- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。ビデオカメラレコーダー内部が故障することがあります。また、太陽光が近くのものに結露すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズフロントキャップを付けてください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けしないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面にメッセージが表示されます(96ページ)。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声がか乱れた場合、画像や音声などの記録内容および

撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。

- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます(32ページ)。
 - 連続したフラッシュ光を当てた状態の被写体を撮影すると、画面の上下が分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。また、付属のCD-ROM「Content Management Utility」で修正可能な場合もありますので、お試しください。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質(SD)の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

ハイビジョン画質(HD)で記録したDVDについて

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレイヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。パソコンで保存するには87ページ、他機で保存するには82ページをご覧ください。
- [**HDI**] REC FORMAT]で選ばれている設定によっては、保存できないディスクがあります。[1080/60p **PS**]にして撮影した動画は、外付けメディアのみに保存できます(82ページ)。[1080/60i **EX**]にして撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(82、84ページ)。

本機で記録した画像をパソコンで扱う方法

- 付属のCD-ROM「Content Management Utility」収録の「ヘルプ」をご覧ください。

画像が正しく記録・再生されないときは[MEDIA FORMAT]してください

- 長時間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT] (62ページ)を行ってください。

記録メディアを廃棄・譲渡するときの注意

- 本機やパソコンの機能による[MEDIA FORMAT]では、記録メディア内のデータは完全に消去されないことがあります。記録メディアを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、記録メディアを廃棄するときは、記録メディア本体を物理的に破壊することをおすすめします。

本機の方法について

- 本機では、SEL/PUSH EXECダイヤル(21、64ページ)、**▲/▼/▶/◆/EXEC** ボタン(64ページ)、タッチパネルで操作が行えます。ただし、メニューの設定など一部の操作はタッチパネルでは行えません。

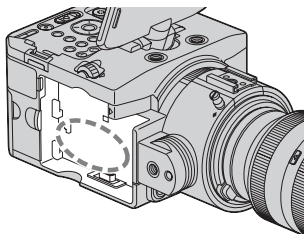
使用前に必ずお読みください(つづき)

本書について

- 本書では、NEX-FS100JKに同梱される「E 18-200mm F3.5-6.3 OSS」レンズを使用して操作の説明をしています。レンズによって操作が違う場合は「ご注意」や「ちょっと一言」に記載してありますので、あわせてご覧ください。
- 本書では、メモリーカード、フラッシュメモリーユニットを「記録メディア」といいます。
- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

機種名の表示について

- 機種名は、フラッシュメモリーユニット取り付け面に記載されています(下図の囲み部分)。



目次

使用前に必ずお読みください	2
---------------------	---

準備する

準備 1: 付属品を確認する	8
準備 2: 付属品を取り付ける	9
準備 3: バッテリーを充電する	16
準備 4: レンズを取り付ける	18
準備 5: 電源を入れて日時を合わせる	21
準備 6: メモリーカードを入れる / フラッシュメモリーユニットを 取り付ける	23

撮る / 見る

撮る	26
ハイビジョン画質(HD)/ 標準画質(SD)を設定する	28
ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ	28
ズームする	29
ピントを調整する	29
マニュアルで撮る	31
アイリスを調節する	31
ゲインを調節する	31
シャッタースピードを調節する	32
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	33
ブラックバランスを調整する	34
音の設定をする	35
付属のマイクで収録する	35
外部音声機器などを使う	35
好みの音に設定する	36
ヘッドホンの音声を設定する	36
便利な機能を使う	37
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロファイル)	37
測位情報を取得する(GPS)	42
タイムデータを設定する	43
SMOOTH SLOW REC を使って撮影する	44
スロー&クイックモーション撮影する	45
最後に撮影した映像を再生する(ラストシーンレビュー)	47
ASSIGN ボタンに機能を設定する	47

見る	49
静止画を見る	51
本機の設定を変更 / 確認する	53
画面表示を切り換える	53
再生時に情報を表示する(データコード)	53
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	54
モニターやテレビにつなぐ	55

編集する

記録した画像を保護する(プロテクト)	57
動画から静止画を作成する	58
動画を分割する	59
動画・静止画を削除する	60
動画・静止画をコピーする	61
記録メディアを初期化する	62
記録メディア上のデータを復元しにくくする	62
管理ファイルを修復する	63

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	64
メニュー一覧	66
📷 (CAMERA SET)メニュー	69
撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/STEADYSHOT など)	
⏮️⏭️ (REC/OUT SET)メニュー	71
録画、入出力に関する設定(REC SET/VIDEO OUT)	
🎵 (AUDIO SET)メニュー	72
録音に関する設定(HiFi AUDIO FORMAT/XLR SET など)	
🖥️ (DISPLAY SET)メニュー	74
画面の表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUT など)	
⌚ (TC/UB SET)メニュー	77
タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMAT など)	
🔧 (OTHERS)メニュー	78
撮影時の設定や、各種基本設定(AREA SET/GPS/BEEP など)	

他機器と接続する

外付けメディアを使って保存する	82
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する	84
DVDライターでハイビジョン画質(HD)のディスクを作る	85
レコーダーなどで標準画質(SD)のディスクを作る	86
パソコンを使って保存する	87

困ったときは

故障かな？と思ったら	89
警告表示とお知らせメッセージ	96

その他

記録時間について	98
海外で使う	100
メモリーカード / フラッシュメモリーユニットのファイル / フォルダー構成	101
使用上のご注意とお手入れ	102
AVCHD 規格について	102
GPS について	102
メモリーカードについて	103
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	104
本機の取り扱いについて	105
主な仕様	108
保証書とアフターサービス	110

各部のなまえ・索引

各部のなまえ	111
ワイヤレスリモコン	116
画面表示	117
索引	118

準備する

準備 1: 付属品を確かめる

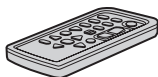
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

- メモリーカード、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャーは別売です。本機で使えるリチャージャブルバッテリーパックについては16ページをご覧ください。

NEX-FS100J/NEX-FS100JK共通

ワイヤレスリモコン(RMT-845)(1)(116ページ)



ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

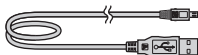
コンポーネントビデオケーブル(1)(55ページ)



A/V接続ケーブル(1)(55, 86ページ)



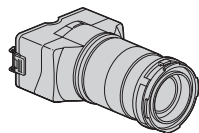
USBケーブル(1)(84ページ)



USBアダプターケーブル(1)(82ページ)



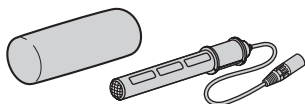
大型LCDビューファインダー(1)(13ページ)



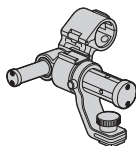
大型アイカップ(1)(13ページ)



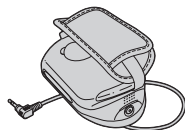
ウインドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1)(11ページ)



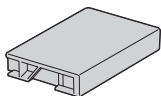
ハンドル(1)(9ページ)



グリップ(1)(12ページ)

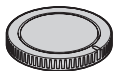


フラッシュメモリーユニット端子カバー(1)(25ページ)



準備 2: 付属品を取り付ける

ボディーキャップ(本体に装着)(1)(18ページ)



シューバネ(1)(15ページ)



接続コード(DK-415)(1)(17ページ)

CD-ROM「Content Management Utility」(1)

CD-ROM「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)

取扱説明書(2)

保証書(1)

ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

NEX-FS100JKのみ

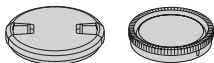
高倍率ズームレンズ(E 18-200mm F3.5-6.3 OSS)(1)(18ページ)



レンズフード(1)(20ページ)



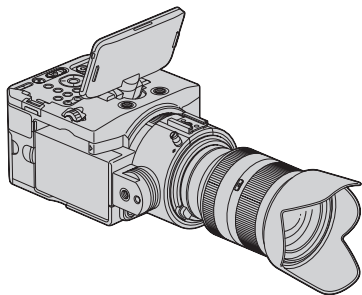
レンズフロントキャップ(1)、レンズリヤキャップ(1)(レンズに装着)(18ページ)



レンズを取り付ける

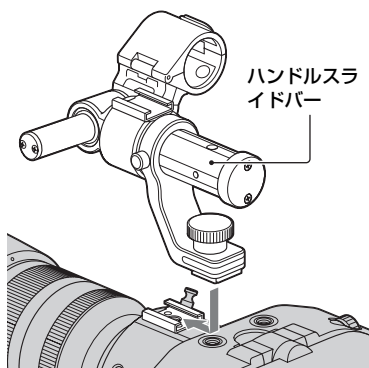
取り付けかたは、18ページをご覧ください。

NEX-FS100Jには、レンズは同梱されていません。別売のレンズをお使いください。

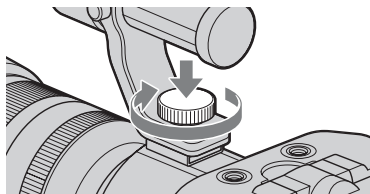


ハンドルを取り付ける

1 アクセサリーシューに、ハンドルを矢印の方向に差し込む。



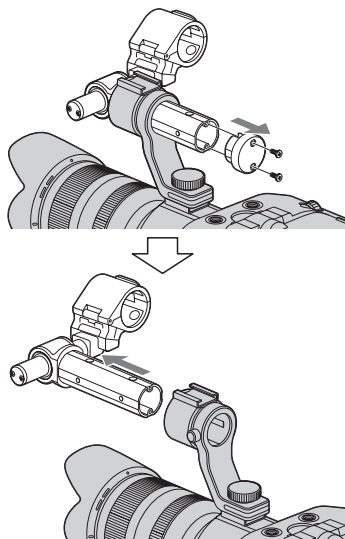
2 ネジを押しながら、時計方向に回して締める。



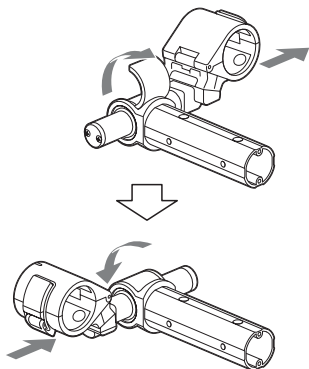
レンズ光線がさえぎられるときは

お使いのレンズによっては、マイクの影響でレンズ光線がさえぎられることがあります。その場合は、ハンドルを逆向きに取り付けてください。

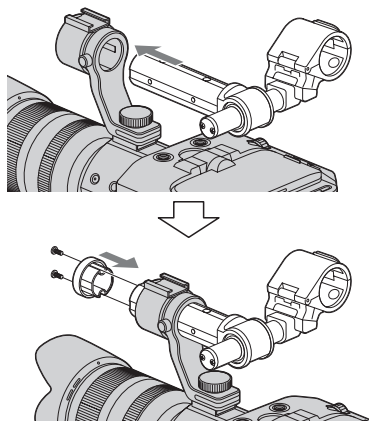
- ① ハンドルスライドバーのネジとキャップを取り外し、引き抜く。



- ② マイクバーを抜いて、反対側から差し込んで、マイクホルダーを上向きにする。

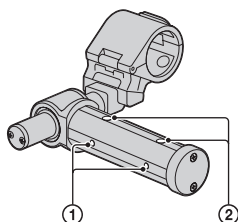


- ③ ハンドルスライドバーを反対側から差し込み、キャップとネジを取り付ける。



💡ちよっと一言

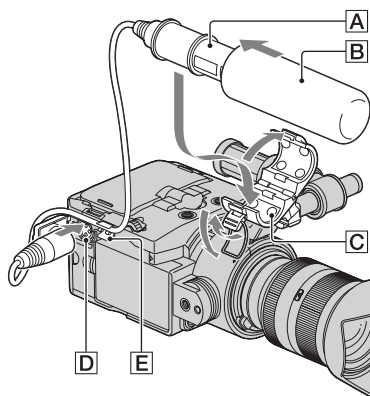
- ハンドルスライドバーのネジ穴は以下にネジに対応しています。



- ① 1/4-20UNC のネジに対応
② 3/8-16UNC のネジに対応

マイクを取り付ける

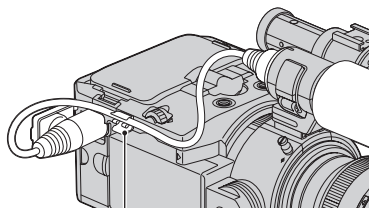
ハンドルにマイクを取り付けます。



- 1 付属のマイク **A** にウインドスクリーン **B** をかぶせる。
- 2 マイク **A** を、型名が上になるようにマイクホルダー **C** に取り付ける。

3 マイクケーブルをINPUT 1端子 **D** につなぐ。

図のように、マイクケーブルをケーブルクランパー **E** に取り付ける。



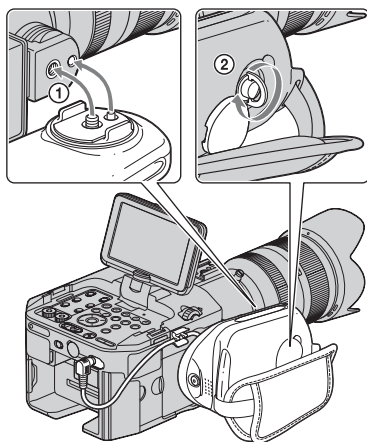
ケーブルクランパー

準備 2: 付属品を取り付ける(つづき)

グリップを取り付ける

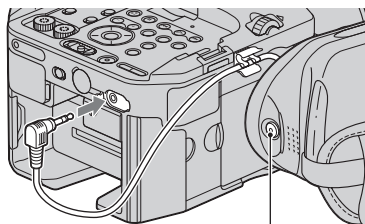
撮影アングルに合わせて、グリップを回転させることができます。

- 1 本体のグリップ取り付けネジ穴①と位置決め穴を、それぞれグリップのネジおよびボスと合わせる。グリップの角度を決め、ツマミ②を時計方向に回して締める。



- 2 REMOTE端子にケーブルをつなぐ。

グリップの録画ボタンで録画スタート/ストップできます。



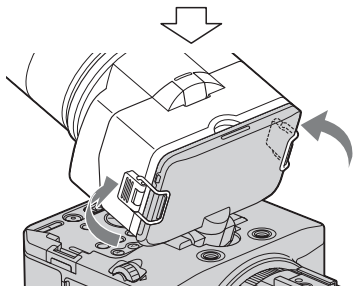
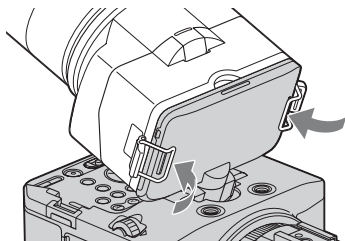
録画ボタン

グリップの角度を変えるときは

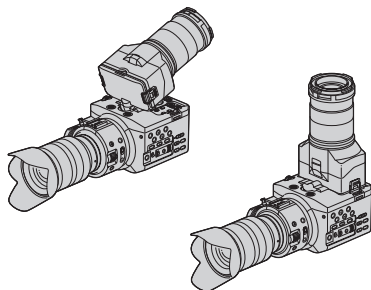
ツマミをゆるめてから、角度を変え、ツマミを締めてください。

大型LCDビューファインダーを取り付ける

液晶画面に取り付けます。



撮影スタイルに合わせたビューファインダーの使いかた



💡ちょっと一言

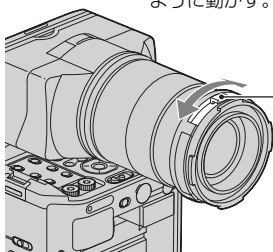
- 液晶画面を好みの角度で保持することができます(14ページ)。

視度を調整する

視度調整リングを操作すると、視力に合わせて液晶画面の画像がはっきり見えるように調整できます。

視度調整リング

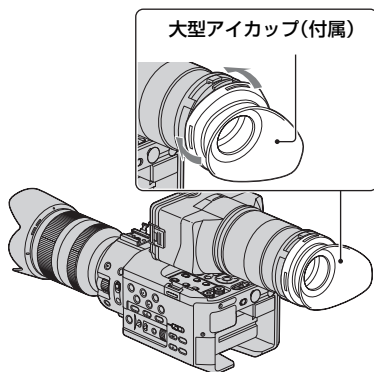
画像がはっきり見えるように動かす。



液晶画面の画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、液晶画面の画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。本体に装着されている大型LCDビューファインダーの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。

大型アイカップ(付属)



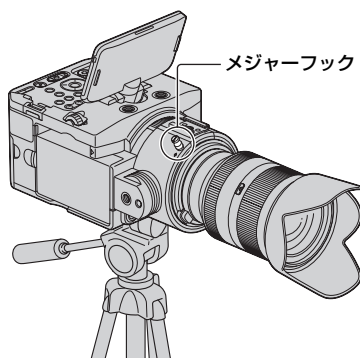
準備 2: 付属品を取り付ける(つづき)

👁️ ちょっと一言

- 遠視補正のため、視度調節リンクに口径52mmのクローズアップレンズ(別売)を取り付けることができます。

メジャーフックを使う

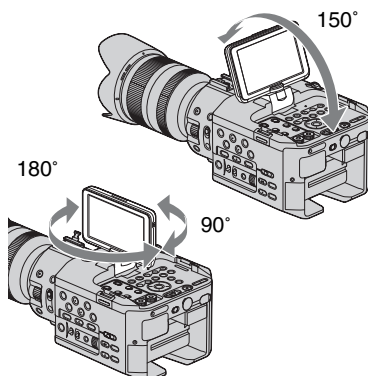
メジャーフックがフォーカス位置の基準になります。被写体からの距離を実測するときに、フックにメジャーの先端をかけることができます。



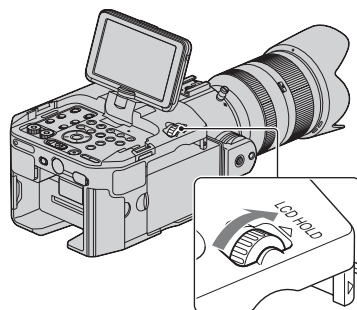
液晶画面を使う

被写体の光軸上に液晶画面が設置されるので、よりイメージ通りの撮影ができます。

液晶画面は左右に回転できますので、撮影者以外が映像を確認することもできます。



LCD HOLD(液晶画面保持)ダイヤルを回すと、好みの角度で保持することができます。



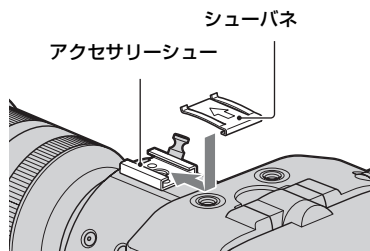
角度を変える場合は、LCD HOLDダイヤルを緩めてください。

アクセサリを取り付ける

アクセサリシューにハンドル以外のアクセサリを取り付ける場合は、シューバネをお使いください。

シューバネを取り付けるには

シューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリシューの端にはまるように取り付ける。



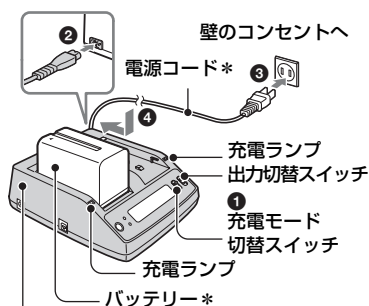
準備 3: バッテリーを充電する

別売のアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。

専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)をACアダプター/チャージャーに取り付けて充電します。

⚡ ご注意

- 高容量バッテリーNP-F770/F970(別売)がお使いいただけます。NP-F570はお使いいただけません。



ACアダプター/チャージャー
AC-VQ1051D*

* 別売のACCKIT-D12Bに付属

1 出力切替スイッチをCHARGEに、充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」(実用充電)または「FULL CHARGE」(満充電)にする。


2 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

4 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

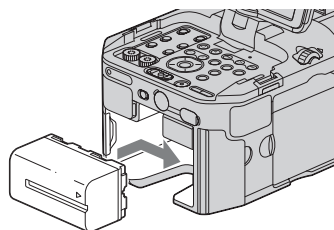
充電ランプが点灯し、充電が始まります。

充電について

充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」にすると実用充電まで、「FULL CHARGE」にすると若干長く使える満充電まで充電します。充電が終わると表示窓のバッテリーマーク()がすべて点灯します。

バッテリーを取り付けるには

バッテリーを押しながら、矢印のように右にずらして取り付ける。



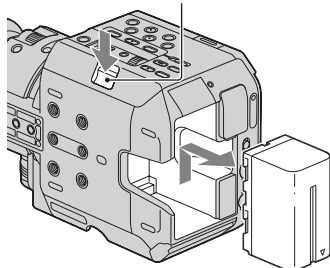
♪ ちょっと一言

- ステータスチェックでバッテリー残量を確認できます(54ページ)。

バッテリーを取り外すには

POWERスイッチを「OFF」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、矢印の方向にずらしてバッテリーを取り外す。

BATT RELEASEボタン



保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください。(保管について詳しくは105ページをご覧ください。)

充電時間

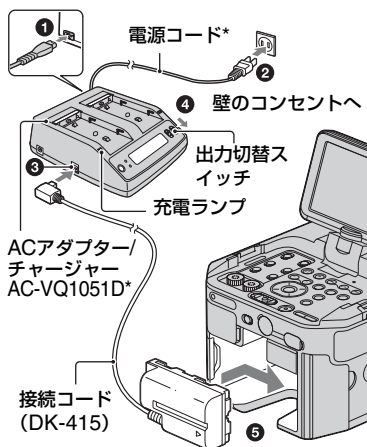
ACアダプター/チャージャーの取扱説明書を参照してください。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- 次のとき、バッテリーインフォ (54ページ) が正しく表示されないことがあります。
 - － バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - － バッテリーが故障しているとき
 - － バッテリーが劣化しているとき

コンセントにつないで使うには

付属の接続コード (DK-415) と別売のACアダプター/チャージャーをお使いになると、バッテリーが切れることを心配しないでお使いいただけます。



* 別売のACCKIT-D12B に付属

- ① 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ② 電源コードをコンセントにつなぐ。
- ③ 接続コード (DK-415) をACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ④ ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。
- ⑤ 接続コード (DK-415) の取り付け部を、本機のバッテリー取り付け部に押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

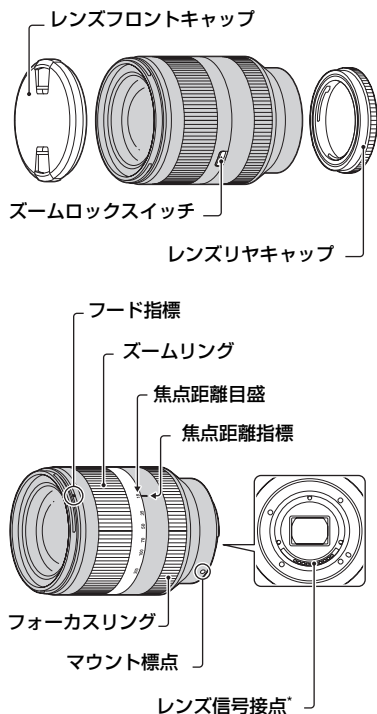
ACアダプター/チャージャーについて

- ACアダプター/チャージャーは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプター/チャージャーを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプター/チャージャーのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備 4: レンズを取り付ける

NEX-FS100JKIに付属のE 18-200mm F3.5-6.3 OSSレンズを例に、レンズの装着方法を説明します。

他のレンズをお使いになる場合は、レンズの取扱説明書も合わせてご覧ください。

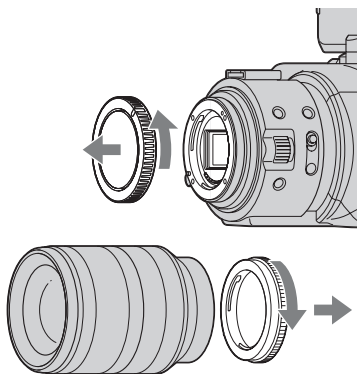


* 直接手で触れたり、汚したりしないでください。

取り付け

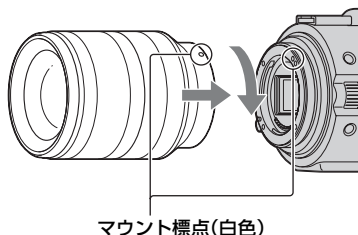
本体内部にゴミやほこりが入らないように、マウント部を下に向けて、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。

- 1 本体とレンズから、キャップやカバーを外す。



2 本体とレンズのマウント標点(白色)を合わせ、レンズを軽く本体に押し付けながら、矢印の方向にゆっくり回す。

「カチッ」と音がしてロックし、装着が完了します。



⚠ご注意

- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないで、まっすぐに合わせてください。マウント部に強い力がかかると、故障や破損の原因となります。
- お使いのレンズによっては、レンズ取り付け状態に余裕がある場合がありますが、故障ではありません。

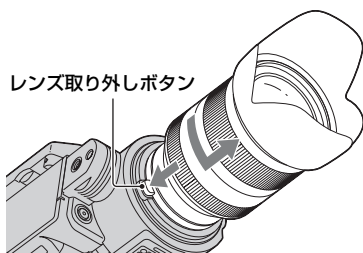
🔍ちょっと一言

- レンズを交換したときは、レンズフロントキャップをした状態で、撮影前にブラックバランスを調整することをおすすめします(34ページ)。

取り外し

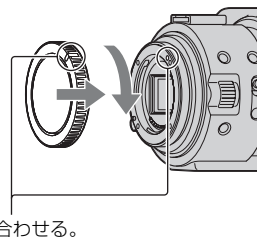
1 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回して外す。

- レンズと本体の両方を持って取り外してください。



2 本体とレンズにキャップを取り付ける。

- マウント標点にキャップの目印を合わせて、時計方向に回して取り付けてください。



- キャップはほこりを落としてから取り付けてください。

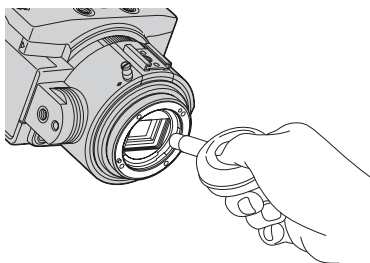
準備4: レンズを取り付ける(つづき)

ⓘご注意

- レンズ交換の際に、本体内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。イメージセンサーはアンチダストコーティングによってゴミやほこりが付きにくくなっていますが、レンズの取り付け/取り外しを行う際は、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。
- レンズやボディキャップを外した状態のまま、本機を放置しないでください。

イメージセンサーにゴミやほこりが付着したら

本機の電源を切り、レンズを外して、別売のプロアーでイメージセンサー表面とその周辺のほこりを吹き飛ばし、レンズを取り付けてください。



ⓘご注意

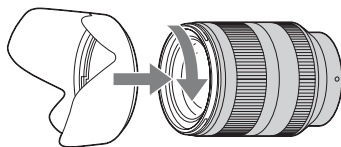
- スプレー式のプロアーは、水滴が本体内部に飛び散るので使用しないでください。
- プロアーの先端がイメージセンサーに当たらないように、マウントより中に入れないでください。
- ほこりが落ちやすいよう、本体をやや下向きにしてください。
- クリーニング中に本体に衝撃を与えないでください。
- この手順でクリーニングを行ってもほこりが取れない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

Aマウントレンズについて

- Aマウントレンズ(別売)をお使いの場合、マウントアダプター(別売)が必要です。詳しくは、マウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- オートフォーカス、オートアイリス機能は使用できません。また、お使いいただけないレンズもあります。レンズの互換性は、専用サポート、もしくはソニー業務用商品相談窓口にご確認ください。

レンズフードの取り付け

レンズフードの赤線をレンズの赤線に合わせてはめ込み、レンズフードの赤点とレンズの赤線が合って「カチッ」というまで時計方向に回します。



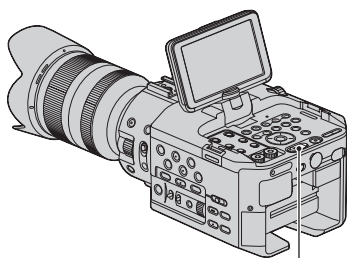
撮影後レンズフードを収納するときは、逆向きにレンズに取り付けてください。

準備 5:電源を入れて日時を合わせる

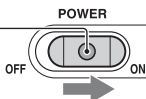
電源を入れる

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。

初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります。



押しながら矢印の方向へスライドさせる。



電源を切るには

POWERスイッチを「OFF」にする。

●ご注意

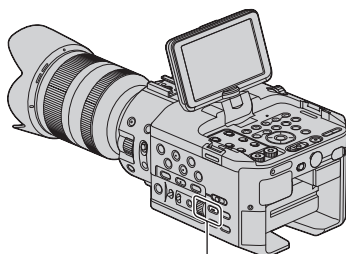
- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。

▼ちょっと一言

- 3か月近く使わないでくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(106ページ)。



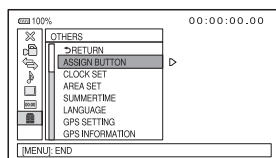
SEL/PUSH EXEC
ダイヤル

MENUボタン

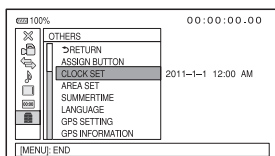
初めて時計を合わせるときは、手順4から操作してください。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OTHERS] (OTHERS)メニューを選び、押して決定する。



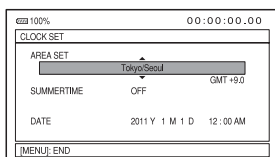
3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[CLOCK SET]を選び、押して決定する。



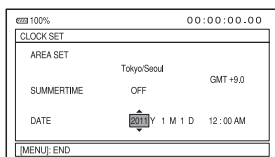
💡ちょっと一言

- 日付時刻は撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます (DATA CODEボタン、53ページ)。
- 一度日時を設定したあとは、[AUTO CLOCK ADJ] (79ページ)/[AUTO AREA ADJ] (80ページ)を[ON]に設定しておくことで自動的に日時が補正されます。地域によっては正しい時刻にならない場合があります。その場合は[OFF]に設定してください。

4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してエリアを選び、押して決定する。



5 同様に、[SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤルを押して決定する。




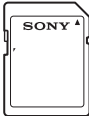
時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME]を[ON]にすると、時計が1時間進みます。
- [Y]は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。



準備 6: メモリーカードを入れる/フラッシュメモリーユニットを取り付ける

メモリーカードを入れる

本機で使えるメモリーカード

		SDスピードクラス	本書での表現
"メモリスティック PRO デュオ" (Mark2)		—	"メモリスティック PRO デュオ"
"メモリスティック PRO-HG デュオ"			
SDメモリーカード		Class 4以上	SDカード
SDHCメモリーカード			
SDXCメモリーカード*			

スロー&クイックモーション撮影で使えるメモリーカード

		SDスピードクラス	本書での表現
"メモリスティック PRO-HG デュオ"		—	"メモリスティック PRO デュオ"
SDメモリーカード		Class 10以上	SDカード
SDHCメモリーカード			
SDXCメモリーカード*			

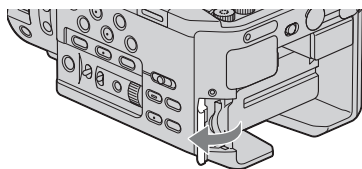
* SDXC メモリーカードに記録した映像は、exFAT (SDXC メモリーカードで使用されているファイルシステム) に対応していないパソコンや AV 機器などに、本機を USB ケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器が exFAT に対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。

⚠ ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 標準の"メモリスティック"の約半分の大きさの"メモリスティック PRO デュオ"、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。
- 本機で動作確認されている"メモリスティック PRO デュオ"は32GB、SDカードは64GBまでです。
- 使用可能なメモリーカードの最新情報につきましてはホームページをご確認ください(裏表紙)。
- マルチメディアカードは使用できません。

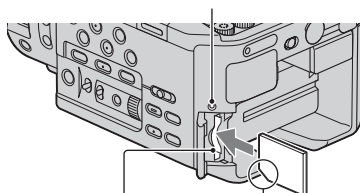
準備 6: メモリーカードを入れる/フラッシュメモリーユニットを取り付ける(つづき)

1 カバーを開ける。



2 メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして、「カチッ」というまで押し込む。

アクセスランプ



メモリーカードスロット

切り欠き部の向きに注意する。

⚠ ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

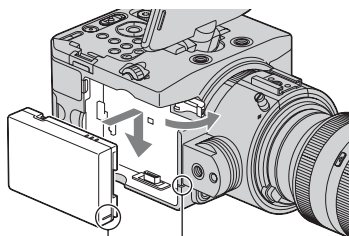
⚠ ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 手順2で「The image database file is corrupted. The media must be restored to use again.」と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(62ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

フラッシュメモリーユニットを取り付ける

別売のフラッシュメモリーユニットHXR-FMU128を本機に取り付けて記録できます。

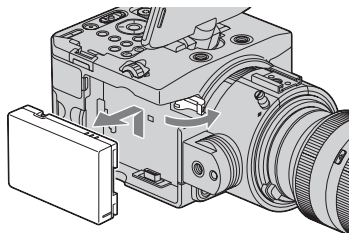
RELEASEレバーを押しながら、本機とフラッシュメモリーユニットのマークを合わせて、フラッシュメモリーユニットを矢印の方向に押す。



マークを合わせる。

フラッシュメモリーユニットを取り外すには

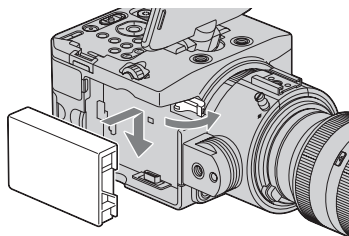
本機の電源を切ってから、RELEASEレバーを矢印の方向に押しながら、フラッシュメモリーユニットを取り外す。



フラッシュメモリーユニットを使わないときは

フラッシュメモリーユニット端子カバーを取り付けてください。

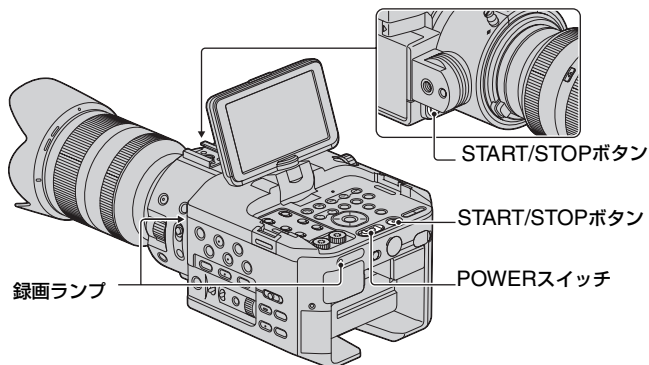
RELEASEレバーを矢印方向に押しながら、フラッシュメモリーユニット端子カバーを取り付ける。



💡ちょっと一言

- 本機には、リレー記録機能はありません。記録中のメモリーがいっぱいになると録画は停止します。
- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方に記録することができます(27ページ)。

撮る



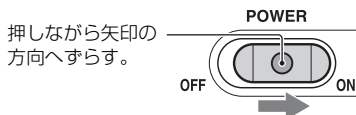
本機は動画をメモリーカードやフラッシュメモリーユニットに記録します。下記の手順で動画を撮影します。

- 動画はハイビジョン画質 (HD)、標準画質 (SD) いずれの画質でも記録できます。お買い上げ時はハイビジョン画質 (HD) で撮影するように設定されています ([HDI/HSDI SET], 28ページ)。

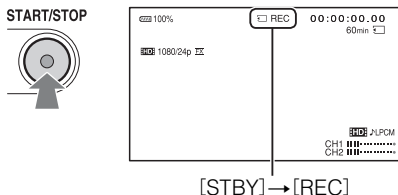
ⓘ ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外したりしないでください。
- 動画の記録時間は98ページをご覧ください。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- メニューの設定や、ピクチャープロファイルの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定はPOWERスイッチを「OFF」にすると保存されます。保存処理中はアクセスランプが点灯します。ただし、途中でバッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外すとお買い上げ時の設定に戻る可能性があります。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。



2 START/STOPボタンを押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

動画撮影を止めるには、START/STOPボタンをもう一度押します。

🗨️ ちょっと一言

- ハイビジョン画質 (HD) での撮影時は、画像のアスペクト比は 16:9 に固定されます。標準画質 (SD) で撮影するときは、4:3 に切り換えることもできます ([**SD**] WIDE REC]、71 ページ)。
- 撮影中の画面表示の切り換えについては 53 ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については 117 ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます ([REC LAMP [F]], [REC LAMP [R]]、80 ページ)。
- 本機では、記録した動画から静止画を作成できます (58 ページ)。

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方に記録するには (同時記録)

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方の記録メディアを使って同時記録が行えます。

MENU ボタンを押す → SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、**REC/OUT SET** → [REC SET] → [**HD**] SIMULTANEOUS REC] → [ON] (お買い上げ時の設定) にする。

🗨️ ちょっと一言

- 同時記録をする場合、[**HD**] / [**SD**] SET] をハイビジョン画質 (HD) に設定してください。
- 同時記録中に一方の記録メディアが記録不可能になっても、もう一方の記録メディアは記録を続けます。
- [**HD**] SIMULTANEOUS REC] が [ON] のときは、[**HD**] REC MEDIA SETTING] の設定に関係なく、両方のメディアに記録可能になります。

どちらか一方の記録メディアだけに記録するには

- ① MENU ボタンを押す → SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、**REC/OUT SET** → [REC SET] → [**HD**] SIMULTANEOUS REC] → [OFF] にする。
- ② **REC/OUT SET** → [REC SET] → [**HD**] REC MEDIA SETTING] → [MEMORY CARD] (メモリーカード) または [FMU] (フラッシュメモリーユニット) を選ぶ。

🗨️ ちょっと一言

- 記録メディアにアクセスエラーが発生した場合は、メッセージが出ます。同時記録撮影時は、記録可能なメディアアイコンが付いた [STBY] が表示されます。


ハイビジョン画質(HD)/標準画質(SD)を設定する

本機では、高精細な映像を楽しめるハイビジョン画質(HD)と、再生機器との互換性にすぐれた標準画質(SD)の2種類から画質を選べます(お買い上げ時の設定は[HD])。撮影する場面や再生機器に合わせて、好みの画質を選んでください。

設定を変えるには













MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)→[REC SET]→/[SD] SET→またはを選択する。

ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ

録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。お買い上げ時は[1080/24p ]に設定されています。

設定を変えるには

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)→[REC SET]→ REC FORMAT→希望の録画フォーマットを選択する。

設定値	説明	
1080/60p 	ビットレート	PS: 最大28Mbps
1080/60i 		FX: 最大24Mbps
1080/60i 		FH: 約17Mbps(平均)
1080/60i 		HQ: 約9Mbps(平均)
1080/60i 		LP: 約5Mbps(平均)
1080/60i 	画サイズ	PS: 1920×1080
1080/30p 		FX: 1920×1080/1280×720
1080/30p 		FH: 1920×1080/1280×720
1080/24p 		HQ: 1440×1080
1080/24p 		LP: 1440×1080
720/60p 	フレームレート	24、30、60のいずれか
720/60p 	スキャン方式	i: インターレース、p: プログレッシブ

設定値について

設定値の値がそれぞれ何を表しているかを1080/24p **FX** を例に説明します。

- 1080: 有効走査線数を表しています。
- 24: フレームレートを表します。
- p: スキャン方式を表します。
- FX: 録画モードを表します。

フレームレート表示について

画面に表示されるフレームレートは実際と異なります。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94

⚠️ ご注意

- スキャン方式がプログレッシブ時の録画モードは、FX/FHのいずれかに固定されます。
- **[HD REC FORMAT]**を**[1080/60p **FX**]**にして撮影した動画は、外付けメディアのみに保存できます(82ページ)。**[1080/60i **FX**]**にして撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(82,84ページ)。

💡 ちょっと一言

- 標準画質(SD)は**[480/60i **HQ**]**に固定されています。

ズームする

お使いになるレンズのズームリングを左右に回して、被写体の大きさを決めてください。ズームはフォーカス調整前に行います。

⚠️ ご注意

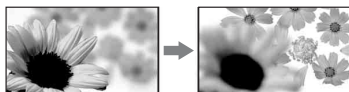
- 装着しているレンズによってできることや操作方法が異なります。お使いになるレンズの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ズームにより繰り出されたレンズ部分を掴んだり、強い力を加えないでください。レンズが破損することがあります。

ピントを調整する

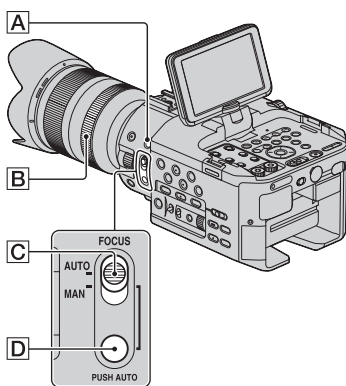
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体



㊦ご注意

- Aマウントレンズ(別売)を取り付けると以下が使えなくなります。
 - オートフォーカス
 - **D**ボタン
 - **C** FOCUSスイッチの「AUTO」

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチ**C**を「MAN」にする。

㊦が表示されます。

2 フォーカスリング**B**を回し、ピントが合うように調節する。

㊦は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

㊦ちょっと一言

ピント合わせのコツ

- 始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

自動調節にするには

FOCUSスイッチ**C**を「AUTO」にする。
㊦が消え自動調節に戻ります。

一時的にオートフォーカスで撮る(プッシュオートフォーカス)

PUSH AUTOボタン**D**を押したまま撮影する。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体にピントを移すようなときに使うと、なめらかな場面展開になります。

㊦ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。
 - FOCUSスイッチ**C**を「MAN」にして㊦を表示させたとき
 - ㊦表示中にフォーカスリングを回したとき

拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)

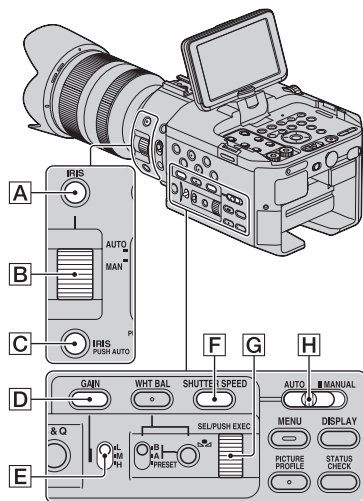
EXPANDED FOCUSボタン**A**を押す。
[EXPANDED FOCUS]が表示され、画面中央が約2.0倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。もう一度押すと元に戻ります。

㊦ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。
- SMOOTH SLOW REC撮影時(44ページ)は、拡大フォーカスは使用できません。

マニュアルで撮る

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスをマニュアル調節する場合は、AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」に切り換えます。



アイリスを調節する

背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

1 AUTO/MANUALスイッチ[H]を「MANUAL」にする。

2 IRISボタン[A]を押す。

アイリス値が横のAが消えます。

3 アイリスリング[B]を回して調節する。

絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイ

リス値を大きくする)と、光量が減ります。

一時的に自動調節にするには

IRIS PUSH AUTOボタン[C]を押し続ける。

押し続けている間だけ、自動で調整されます。

自動調節にするには

IRISボタン[A]を押す。

アイリス値の横にAが表示されます。

●ご注意

- Eマウントレンズでのみ調整できます。
- Aマウントレンズ(別売)使用時は、アイリスは手動になります。アイリスリング[B]で調整してください。
- AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調整はできません。

♪ちょっと一言

- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。

ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。

1 AUTO/MANUALスイッチ[H]を「MANUAL」にする。

2 GAINボタン[D]を押す。

ゲイン値の横のAが消えます。または、ゲイン値が表示されます。

3 ゲインスイッチ[E]でH/M/Lを選択する。

設定されたゲイン値が表示されます。
H/M/Lの値は、 (CAMERA SET) メニューの[GAIN SET]でそれぞれ設定します(69ページ)。

自動調節にするには

GAINボタン[D]を押す。
ゲイン値が消えます。または、ゲイン値の横に[A]が表示されます。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調整はできません。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

1 AUTO/MANUALスイッチ[H]を「MANUAL」にする。

2 シャッタースピード値が反転表示されるまで、SHUTTER SPEEDボタン[F]を押す。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[G]を回して、シャッタースピードを調節する。

1/3秒～1/10000秒(24p設定時)、1/4秒～10000秒(60p、60i設定時)から選べます。シャッタースピードが画面

に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

4 SEL/PUSH EXECダイヤル[G]を押して、シャッタースピードを固定する。

再度変更したい場合は、手順2から行います。

ちょっとした一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変わったりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

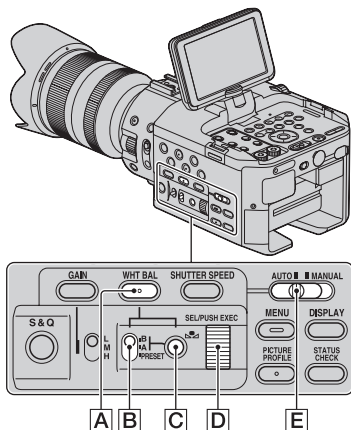
自動調節にするには

SHUTTER SPEEDボタン[F]を2回押す。
シャッタースピード値が消えます。または、シャッタースピード値の横に[A]が表示されます。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調整はできません。

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A(☞A)、またはB(☞B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめ

☞(CAMERA SET)メニューの[WB PRESET]で選んだ[OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

☞ちょっと一言

- [WB PRESET]をASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

1 AUTO/MANUALスイッチ[E]を「MANUAL」にする。

2 WHT BALボタン[A]を押す。

3 ホワイトバランスメモリースイッチ[B]を、PRESET/A/Bのいずれかにセットする。

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。

■ 自分で記憶させたホワイトバランスを使うには

- ① 「メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには」の順に従って、あらかじめ設定値を記憶させる(34ページ)。
- ② スイッチ[B]をAまたはBにする。

☞ちょっと一言

- 市販のNDフィルターをお使いの場合は、この調整を行うことをおすすめします。

■ ホワイトバランスのプリセットを使うには

屋外では

- ① [CAMERA SET]メニューの[WB PRESET]を[☼ (OUTDOOR)]に設定しておく(69ページ)。
- ② スイッチ[B]を「PRESET」にする。








屋内では

- ① [CAMERA SET]メニューの[WB PRESET]を[☾ (INDOOR)]に設定しておく。
- ② スイッチ[B]を「PRESET」にする。









■ 色温度を設定するには

- ① [CAMERA SET]メニューの[WB TEMP SET]で色温度を設定する(69ページ)。
- ② [CAMERA SET]メニューの[WB PRESET]を[MANU WB TEMP]に設定しておく(69ページ)。
- ③ スイッチ[B]を「PRESET」にする。




☺ちよっと一言

- ☀(屋外)に設定しているときに、 (one push) ボタン  を押して SEL/PUSH EXEC ダイヤル  を回すと、屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7(青め)~0(標準、お買い上げ時の設定)~+7(赤め)から選べます。メニューで設定することもできます([WB OUTDOOR LEVEL]、69ページ)。
- ホワイトバランスメモリースイッチ  を「PRESET」にして、[WB PRESET] を [MANU WB TEMP] に設定しているときに、 (one push) ボタン  を押して SEL/PUSH EXEC ダイヤル  を回すと、色温度の値を変更できます。


メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUAL スイッチ  を「MANUAL」にする。
- ② WHT BAL ボタン  を押す。
- ③ A() または B() を選ぶ。
- ④ 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱい映す。
- ⑤  (one push) ボタン  を押す。
 A または  B に調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。


📌ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、 A または  B が遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。
- 撮影条件によって、ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。調整終了前に他の操作を行いたいときは、ホワイトバランスメモリースイッチ  を一時的に他の位置へセットして、ホワイトバランスの調整を中止してください。

自動調節に戻すには

WHT BAL ボタン  を押す。

📌ご注意

- AUTO/MANUAL スイッチ  を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

ブラックバランスを調整する

撮影条件などにより黒の色ずれが気になる場合、ブラックバランスを調整してください。また、レンズを交換した後も調整することをおすすめします。
調整値は一時的に保持されますが、電源を入れないと、初期状態に戻ります。

1 スタンバイ中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで (CAMERA SET)メニュー → [BLK BALANCE] を選ぶ。

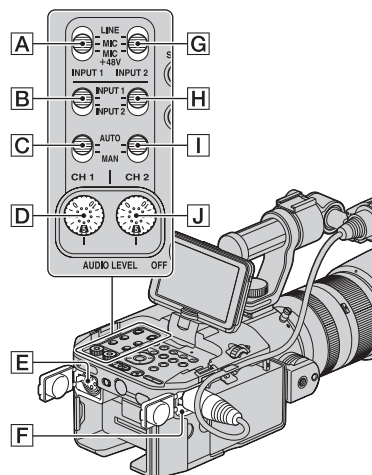
3 画面にしたがって、レンズのフロントキャップを取り付け、[YES]を押して決定する。 調整が実行されます。

4 [Completed.]と表示されたらMENUボタンを押して終了する。

[Could not adjust.]と表示されたときは
再度実行する。

音の設定をする

下の端子やスイッチなどを使い、収録する音声を設定します。接続については、9ページをご覧ください。



外部音声の入力端子と切り換えスイッチ

INPUT 1端子[F]

INPUT 2端子[E]

INPUT 1スイッチ[A]

INPUT 2スイッチ[G]

音源の設定用スイッチ

CH1 (INPUT 1/INPUT 2) スイッチ[B]

CH2 (INPUT 1/INPUT 2) スイッチ[H]

音源レベルの設定用スイッチ

CH 1 (AUTO/MAN) スイッチ[C]

CH 2 (AUTO/MAN) スイッチ[I]

AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル[D]

AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル[J]

付属のマイクで収録する

モノラル音声を収録できます。

1 付属のマイクを取り付け(11ページ)、INPUT 1端子[F]につなぐ。

2 CH 1 (INPUT 1/INPUT 2) スイッチ[B]とCH 2 (INPUT 1/INPUT 2) スイッチ[H]を「INPUT 1」にする。

CH1とCH2の両方に同じ音声が記録されます。

3 INPUT 1スイッチ[A]を「MIC+48V」にする。

外部音声機器などを使う

付属マイク以外のマイクや外部音声機器を使う場合は、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

⚠️ ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機

音の設定をする(つづき)

器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。

- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT 1/INPUT 2スイッチを「LINE」にしてください。

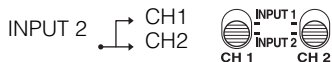
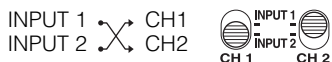
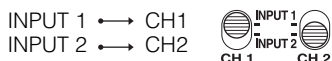
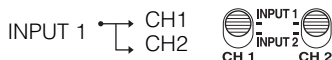
2 マイクの入力レベルを設定する。

- メニューのINPUT TRIM(73ページ)でXLRマイクの入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調整してください。付属マイク(ECM-XM1)の場合は、「0dB」をおすすめします。
- 入力レベルは、-60dBu(+12dB)～-30dBu(-18dB)の範囲で、6dBごとに設定できます。お買い上げ時の設定は、-48dBu(0dB)です。

3 録音するチャンネルを選ぶ。

CH 1/CH 2スイッチで、それぞれのチャンネルに録音する音声を選びます。

入力端子と録音されるチャンネル スwitchの設定



🗣️ ちょっと一言


- XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、INPUT 1端子にL(左)チャンネル、

INPUT 2端子にR(右)チャンネルを接続し、CH 1スイッチをINPUT 1、CH 2スイッチをINPUT 2に設定してください。

好みの音に設定する



INPUT 1端子/INPUT 2端子に取り付けたマイクを好みの音量に調節できます。

1 調節するチャンネルのAUTO/MANスイッチ(または)を「MAN」にする。

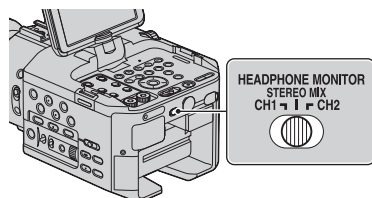
画面に  M_1 が表示されます。

2 撮影中、またはスタンバイ中に調節するチャンネルのAUDIO LEVELダイヤル(または)を回して、マイク音量を調節する。

自動調節に戻すには

手動調節したチャンネルのAUTO/MANスイッチ( または )を「AUTO」にする。

ヘッドホンの音声を設定する

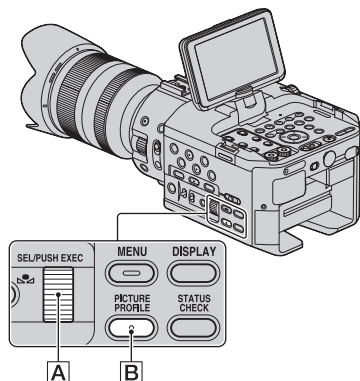


ヘッドホンの音声をCH1/CH2に切り換えます。

「STEREO MIX」時の音声については、[HEADPHONE OUT]をご覧ください(73ページ)。

便利な機能を使う

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)



[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ピクチャープロファイル番号	撮影条件
PP1	ピクチャープロファイル[OFF]と同じ設定値
PP2	ピクチャープロファイル[OFF]と同じ設定値
PP3	ITU-709ガンマを用いた自然な色合いの設定例
PP4	ITU-709規格に忠実な色合いの設定例
PP5	一般的な映画用カラーネガフィルムによる撮影画のような設定例
PP6	一般的な映画用カラープリントフィルムで上映したような設定例

撮る/見る

1 スタンバイ中に、PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回してピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で[OK]を選んで、押して決定する。

ピクチャープロファイル撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を押して決定します。

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できません。

- ① PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して、設定を変更するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[SETTING]を選び、押して決定する。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して調節したい項目を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して画質を調節し、押して決定する。
- ⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[↩ RETURN]を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
	黒レベルを設定する。 -15 ~ +15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	標準のガンマカーブ。
[CINEMATONE1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[CINEMATONE2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大) ~ +7(ブラックストレッチ最大)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動/手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90% ~ 100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH / MIDDLE / LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75% ~ 105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが小さい) ~ +5(傾きが大きい)

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	発色のタイプを設定する。 [STANDARD] : 標準の色合い。 [CINEMATONE1] : [GAMMA]が[CINEMATONE1]のときに適したフィルム調の色合い。 [CINEMATONE2] : [GAMMA]が[CINEMATONE2]のときに適したフィルム調の色合い。 [PRO] : ソニー業務用カメラの標準画質に近い色合い (ITU-709と組み合わせをした場合)。 [ITU709 MATRIX] : ITU-709相当。
[LEVEL]	[TYPE]を[STANDARD]以外に設定したとき、標準の色合いと選択したタイプの色合いとの間で発色のレベルを設定する。 1(選択したタイプの効果を弱めて標準に近づける)～8(選択したタイプの効果をそのまま使う)

COLOR LEVEL

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(薄くなる)～+7(濃くなる)、-8:白黒で撮影する。

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)～+7(赤みがかかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。側にすると明るくなり、色が浅く見える。[COLOR LEVEL]を-8(モノトーン)にしたときにも有効。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)～+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)～+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)～+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)～+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)～+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)～+7(黄が深くなる)

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC] : フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB[COLOR TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかかる)～+9(赤みがかかる)
[CC[MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかかる)～+9(マゼンタがかかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)～+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)～+9(Bのレベルが上がる)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7～ +7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 [ON] : [DETAIL]の手動詳細設定を行う(自動最適化は行われない)。 [OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定を行わない。
[V/H BALANCE]	垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを設定する。 -2(垂直(V)が強い) ～ +2(水平(H)が強い)
[B/W BALANCE]	下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを選ぶ。 TYPE1(下側(B)が強い) ～ TYPE5(上側(W)が強い)
[LIMIT]	DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ～ 7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))
[CRISPENING]	クリスプニングレベルを設定する。 0(クリスプニングレベルが浅い) ～ 7(クリスプニングレベルが深い)
[HI-LIGHT DETAIL]	高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 0～4

COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

ボタンの位置は、37ページをご覧ください。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** で [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して [YES] を選び、押して決定する。
- ⑥ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して、**[↶ RETURN]** → **[OK]** を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには


ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。ボタンの位置は、37ページをご覧ください。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して [SETTING] → [RESET] → [YES] → **[↶ RETURN]** → **[OK]** を選ぶ。

測位情報を取得する(GPS)



1 スタンバイ中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイアルで (OTHERS)メニュー→[GPS SETTING]→[ON](お買い上げ時の設定)を選び、押して決定する。

 が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画の撮影時に測位情報を記録します。

④ご注意

- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	[GPS]が[OFF]になっている。またはエラーが起きている。
測位困難		GPS信号を受信できないため、測位情報が取れない。空の開けた場所に移動してください。
衛星検索中		衛星を検索中です。測位中になるまで数分かかることがあります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
測位中		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
測位中		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

- お買い上げ時は[GPS]が[ON]になっていません。GPSの測位中に撮影した動画の位置情報や

測位時刻が記録されます。測位情報を記録しない場合は、[GPS]を[OFF]にしてください。

- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっていても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、**00:00** (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

タイムコードを設定する

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[TC PRESET]を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
タイムコードは、00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定します。
● 24p設定時は、末尾2桁を0～23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。

タイムコードをリセットするには

「タイムコードを設定する」の手順②で[RESET]を選び、タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットするには

リモコンのTC RESETボタンを押しても、タイムコードをリセット(00:00:00:00)できません。

ユーザービットを設定する

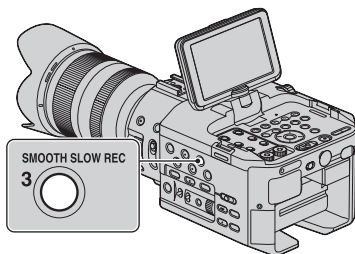
- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[UB PRESET]を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。

ユーザービットをリセットするには

「ユーザービットを設定する」の手順②で[RESET]を選び、ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

SMOOTH SLOW RECを使って撮影する

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション(25%スロー)映像として撮影します。ゴルフ、テニスのスイングなどの速い動きの撮影時に便利です。



SMOOTH SLOW RECボタンを押し、START/STOPボタンを押す。

約3秒間のシーンが、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。[Recording...]が消えると記録が完了します。

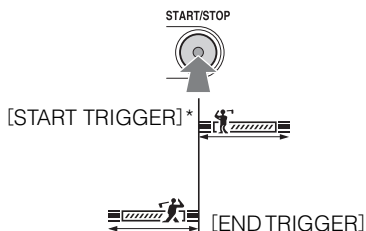
解除するには

SMOOTH SLOW RECボタン、またはMENUボタンを押す。

タイミングを変更するには

記録を開始するタイミングを選択できません。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで[CAMERA SET]メニュー→[SMOOTH SLOW REC]→[REC TIMING]→希望のタイミングを選びます。



* お買い上げ時の設定は[START TRIGGER]です。

⚠️ご注意

- 音声は記録されません。
- 画質は通常撮影時よりも劣化します。
- シャッタースピードは、1/250秒以下には設定できません。
- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットへの同時記録はできません。
- [SMOOTH SLOW REC]をした動画に記録される時刻は、撮影した時刻ではなく、スロー映像に変換された際の時刻になります。
- 標準画質(SD)では、[SMOOTH SLOW REC]ができません。
- [SMOOTH SLOW REC]では、画角がT側(望遠)にシフト(25%テレシフト)します。

💡ちょっと一言

- ハイビジョン画質(HD)時の[SMOOTH SLOW REC]時の録画フォーマットは、[1080/60i FH]になります。[SMOOTH SLOW REC]を終了すると、通常撮影時の設定に戻ります。
- [HD] REC MEDIA SETTINGで選ばれているメディアに記録されます。

スロー&クイックモーション撮影する

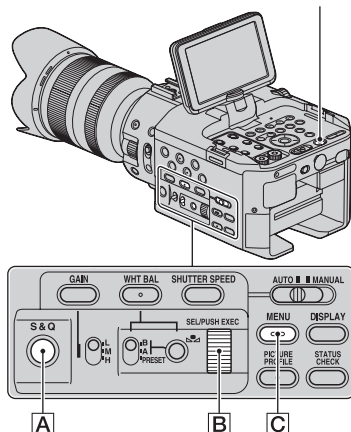
再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常の速度で撮影した映像を低速再生、高速再生する場合よりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。スロー&クイックモーション撮影は、ハイビジョン画質(HD)でのみ行えます。

再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下ようになります。

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
60	40% スロー	50% スロー	100% (標準)
30	80% スロー	100% (標準)	200% クイック
15	160% クイック	200% クイック	400% クイック
8	300% クイック	375% クイック	750% クイック
4	600% クイック	750% クイック	1500% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック	3000% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック	6000% クイック

START/STOPボタン



撮る/見る

●ご注意


- スロー&クイックモーション撮影時は、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、またはSDカードのClass10以上をお使いください。
- クイックモーション撮影は、記録が停止しない場合があります(設定により、最大30秒程記録を継続します)。液晶画面の表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り替わるまでお待ちください。
- 本機では、再生時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。

撮影前の設定

録画フォーマットとフレームレートを設定します。



- ① MENU ボタン  を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル  で
 (CAMERA SET) メニュー → [S&Q MOTION] → [REC FORMAT] を選ぶ。
- ③ 録画フォーマットを設定する。
1080/60p PS/ 1080/30p FX/ 1080/30p FH/ 1080/24p FX/ 1080/24p FH から選びます。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイヤル  で
[FRAME RATE] を選び、フレームレートを設定する。
60fps / 30fps / 15fps / 8fps / 4fps / 2fps / 1fps から選びます。
- ⑤  RETURN →  を選ぶ。

スロー&クイックモーションモードで撮影する



S&Qボタンを押してから、START/STOPボタンを押す。
スロー&クイックモーションモードでの記録が始まります。

スロー&クイックモーション記録を停止するには

START/STOPボタンを押す。

フレームレートの設定を変更するには
S&Qボタンを約1秒間長押しして、
SEL/PUSH EXECダイヤルで設定値を変更する。
S&Qボタンをもう一度約1秒間長押しすると元に戻ります。

解除するには

スタンバイ中に、S&Qボタンまたは
MENUボタンを押す。

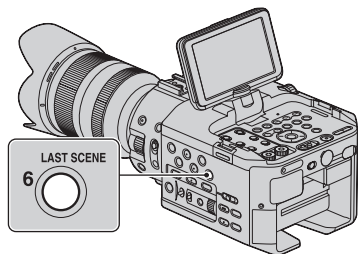
④で注意

- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- スロー&クイックモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードは[REC RUN]で記録されます(77ページ)。
- 本機のPOWERスイッチを「OFF」にした場合も、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- 100% (標準) のときのみ音声を記録できます。
- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットへの同時記録はできません。
- 標準画質 (SD) では、スロー&クイックモーション撮影はできません。

ASSIGN ボタンに機能を設定する

最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー)

直前に記録したシーンを画面で確認できます。



録画を停止したら、LAST SCENE ボタンを押す。

最後のシーンの先頭から再生が始まります。終わりまで再生すると終了し、スタンバイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中にLAST SCENEボタンを押すと中断し、スタンバイに戻ります。

⚠ ご注意

- 録画後に編集やメディアの抜き差しなどの操作を行った場合、ラストシーンレビューが正しく実行できない場合があります。
- SMOOTH SLOW RECではラストシーンレビュー機能は使えません。

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。ASSIGN1～6ボタンに1つずつ割り当てられます。

各機能については、「メニュー一覧」(66ページ)をご覧ください。

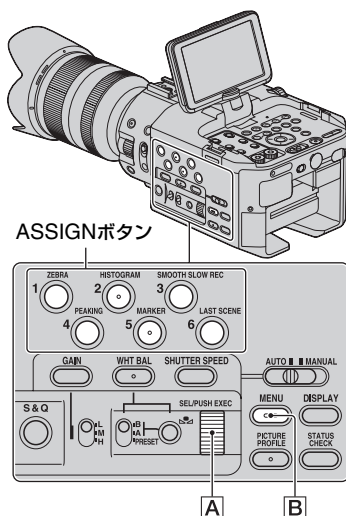
お買い上げ時にASSIGNボタンに割り当てられている機能

- ASSIGN1: ZEBRA (74ページ)
- ASSIGN2: HISTOGRAM (74ページ)
- ASSIGN3: SMOOTH SLOW REC (44ページ)
- ASSIGN4: PEAKING (74ページ)
- ASSIGN5: MARKER (75ページ)
- ASSIGN6: LAST SCENE (47ページ)

割り当てられる機能

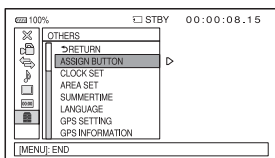
- — (機能なし)
- LAST SCENE REVIEW (47ページ)
- WB PRESET (33ページ)
- AE SHIFT (69ページ)
- STEADYSHOT (70ページ)
- SMOOTH SLOW REC (44ページ)
- COLOR BAR (70ページ)
- HISTOGRAM (74ページ)
- ZEBRA (74ページ)
- PEAKING (74ページ)
- MARKER (75ページ)
- CAMERA DATA DISPLAY (75ページ)
- AUDIO LEVEL DISPLAY (76ページ)
- REC LAMP [F] (80ページ)
- REC LAMP [R] (80ページ)
- VISUAL INDEX (49ページ)

ASSIGNボタンに機能を設定する(つづき)



1 MENUボタン[B]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で [OTHERS] メニュー → [ASSIGN BUTTON] を選ぶ。



3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

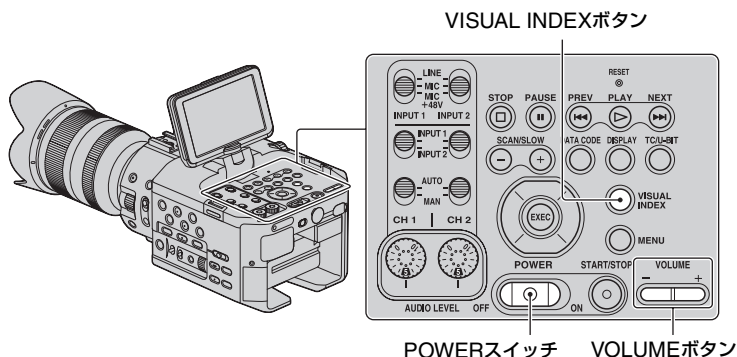
- 機能が割り当てられていないボタンには、[-----]が表示されます。

4 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して割り当てる機能を選び、押して決定する。

5 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して [OK] を選び、押して決定する。

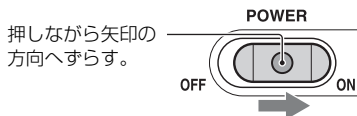
6 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して [RETURN] を選び、押して決定する。

7 MENUボタン[B]を押して、メニュー画面を消す。



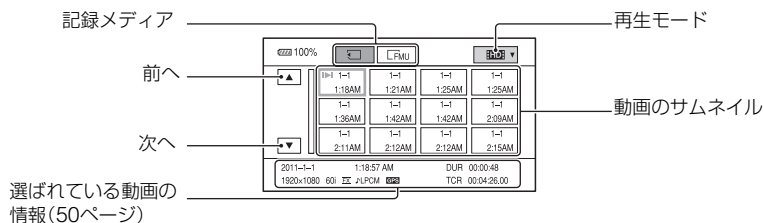
下記の手順で動画を再生します。

1 POWERスイッチを「ON」にする。



2 VISUAL INDEXボタンを押す。

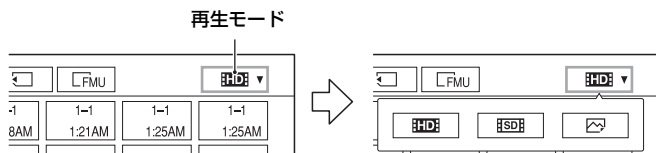
数秒後にVISUAL INDEX画面が表示されます。



- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。

3 動画を再生する。

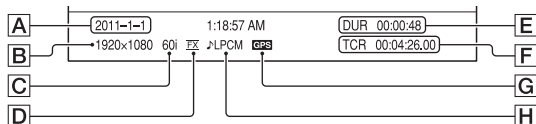
- ① 再生したい記録メディアをタッチする。
☐ : メモリーカード
☐ FMU : フラッシュメモリーユニット
- ② 再生モードをタッチして、表示される再生モードから選ぶ。



HD : ハイビジョン画質 (HD)

SD : 標準画質 (SD)

- ③ 再生したい動画のサムネイルを 2 度タッチする。
 ◀/▶/▶ ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXEC ボタンを押すことで再生できます。
 サムネイルを 1 度タッチすると画面の下部分にタッチした動画の情報が表示されます。



A 撮影開始日時

B 動画の解像度

C フレームレート

D 録画モード

E 動画記録時間

F 記録開始タイムコード

タイムコードが記録されていない記録メディアや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録された記録メディアを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

G GPS 情報

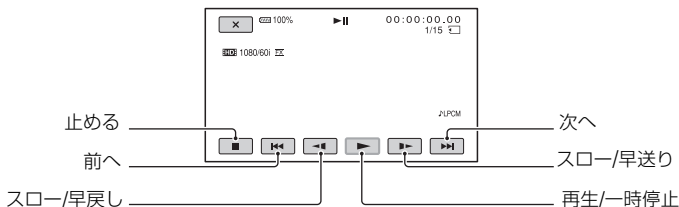
[OTHERS] メニューの [GPS] を [ON] (お買い上げ時の設定) にして撮影した動画に表示されます。

H LPCM 記録

音声は LPCM 記録されている場合に 표시됩니다。標準画質 (SD) の動画の場合は表示されません。

- 最後に再生・撮影した動画に▶▶が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

動画の再生が始まります。



ⓘ ご注意

- 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。
- サムネイルに1度タッチして、PLAYボタンを押すと最後に記録した場面または最後に再生した場面が再生されます。

🗣️ ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、VISUAL INDEX画面に戻ります。
- 一時停止中に ◀|▶ をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、⏮/⏭ をタッチする回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生されます。
- VISUAL INDEX画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。
- 再生中は、本機のPREV/PLAY/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOWボタンを使っても操作ができます。

音量を調節するには

VOLUMEボタンで調節する。

撮影モードに戻すには

VISUAL INDEXボタンを押す。

静止画を見る

静止画は、本機で撮影した動画から作成します(58ページ)。

静止画を再生する。

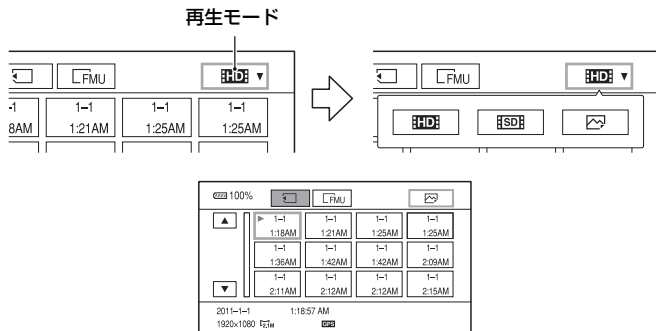
- ① 再生したい記録メディアをタッチする。

□ : メモリーカード

□ FMU : フラッシュメモリーユニット

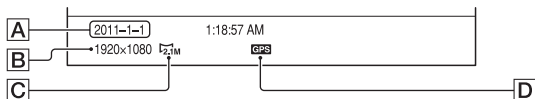
見る(つづき)

- ② 再生モードで、 (静止画)を選ぶ。



- ③ 再生したい静止画のサムネイルを 2 度タッチする。

1 度タッチすると画面の下部にタッチした静止画の情報が表示されます。



A 記録開始日時

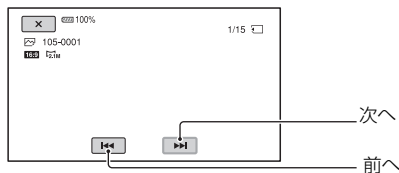
B 縦横解像度

C 画サイズ

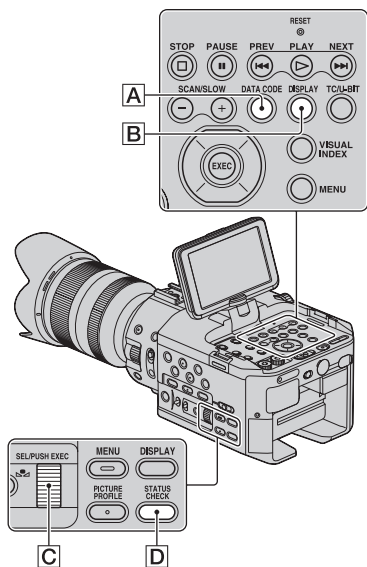
D GPS 情報

静止画作成元の動画が[GPS]を[ON] (お買い上げ時の設定)にして撮影した場合、表示されます。

静止画が再生されます。



本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン[B]を押す。

押すたびに、非表示↔表示と切り替わります。撮影モードのときは、詳細表示→簡易表示→非表示の順に切り替わります。

💡ちょっと一言

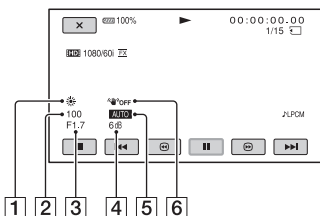
- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(76ページ)。

再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ、GPS測位情報)を再生時に表示できます。

再生または一時停止中にDATA CODEボタン[A]を押す。

押すたびに、日付時刻表示→カメラデータ→GPS測位情報→表示なしと切り替わります。



- 1 ホワイトバランス
[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。
- 2 シャッタースピード
- 3 アイリス
- 4 ゲイン
- 5 明るさ調節
アイリス/ゲイン/シャッタースピードを自動調節で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。
- 6 手ブレ補正

📌ご注意

- 静止画再生時は、露出補正値(EV)とシャッタースピード、アイリス、フラッシュの有無が表示されます。
- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示さ

本機の設定を変更/確認する(つづき)

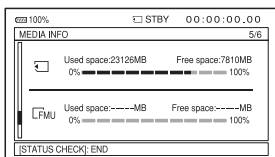
れないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

- GPS測位情報表示のときは、データコードの部分に緯度経度が表示されます。
- GPSを受信できずに撮影すると、[---- --]などのバーが表示されます。

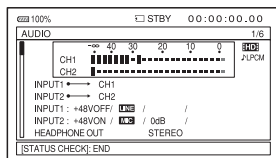
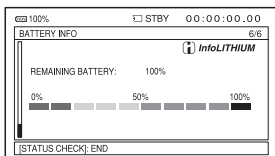
本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- マイク音量レベルなどの音声設定(72ページ)
- 出力に関する設定([VIDEO OUT])(71ページ)など
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(47ページ)
- カメラに関する設定(69ページ)
- 記録メディア情報
使用領域と空き領域の目安を確認できます。



- バッテリーインフォ
装着しているバッテリー残量を確認できます。



2 SEL/PUSH EXECダイヤル \square

を回して、項目を表示する。

AUDIO→OUTPUT→ASSIGN
→CAMERA→MEDIA INFO
→BATTERY INFOと切り替わります。

起動時の条件によって、表示されないものもあります。

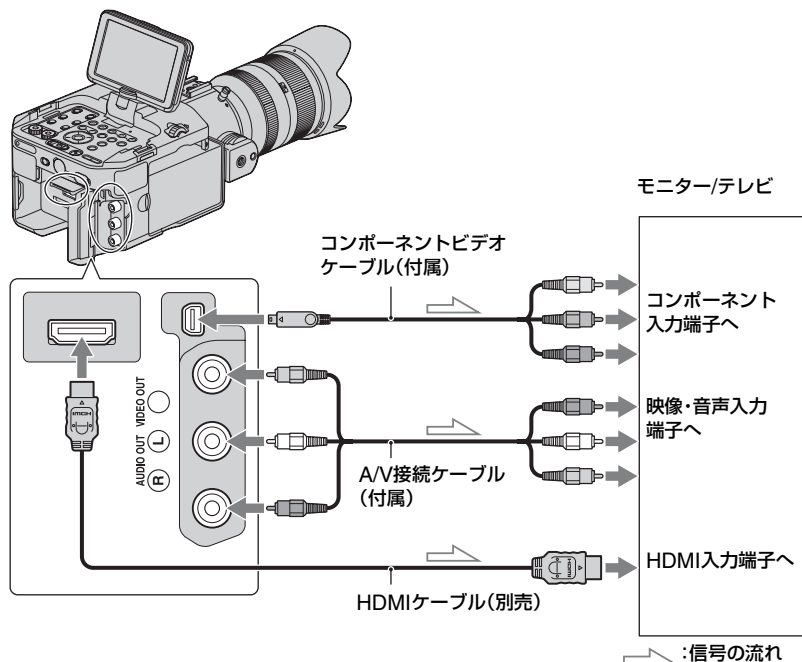
情報表示を消すには

STATUS CHECKボタン \square を押す。

1 STATUS CHECKボタン \square を押す。

モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や、再生される画質が異なります。



撮る/見る

HDMI端子とCOMPONENT OUT端子は同時に出力できます。
A/V接続ケーブルのみの場合は、VIDEO OUTが出力されます。

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

📢 ご注意

- [HDMI/COMPONENT] の設定によって、出力解像度が変わります。

HD/SD	[HDMI/ COMPONENT] の設定	出力解像度		
		HDMI OUT	COMPONENT OUT	VIDEO OUT
HD	1080p/480i	1080p	1080p	480i
	720p/480i	720p	720p	480i
	1080i/480i	1080i	1080i	480i
	480p	480p	480p	480i
	480i	480i	480i	480i
SD	1080p/480i	480i	480i	480i
	720p/480i	480i	480i	480i
	1080i/480i	480i	480i	480i
	480p	480p	480p	480i
	480i	480i	480i	480i

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像をHDMI出力端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- [HDI: REC FORMAT] のフレームレートが24pまたは30pのときには、プルダウン方式でインターレース信号に変換して出力されます。
- [HDI: REC FORMAT] が[1080/60p PS]のときは、録画中に720pと480pの出力ができません。[HDMI/COMPONENT] の設定が[720p/480i]または[480p]になっていると、録画中は黒い画面になります。
- テレビやモニターに出力中、編集画面を表示するとメニューの一部が正しく表示できない場合があります。
- 本機はブラビアリンクに対応していません。


🗨️ ちょっと一言

- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) とはテレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

記録した画像を保護する(プロテクト)

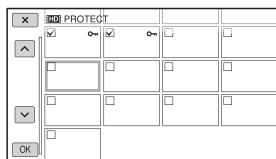
動画・静止画を誤って削除してしまうことを防げます。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで
 (EDIT)メニュー→
 [PROTECT]を選ぶ。

3 プロテクトしたい動画・静止画を
 タッチする。

画像に✓マークが表示されます。



💡ちょっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューで
きます。[X]で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

4 [OK]→[OK]→[OK]をタッチする。

プロテクトを解除するには

手順3で✓マークがついている動画・静止
 画をタッチする。

✓マークが消えます。

動画から静止画を作成する

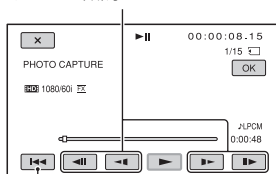
記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで [EDIT]メニュー→[PHOTO CAPTURE]を選ぶ。

3 静止画にしたい場面でIIをタッチ する。

IIで場面を決定してから、これらの
ボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 [OK]をタッチする。

静止画は、再生している動画の記録メディアに記録されます。静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

📌注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
 - ハイビジョン画質(HD)のときは[2.1M]
 - 標準画質(SD)でワイド(16:9)のときは[0.2M]
 - 標準画質(SD)で4:3のときは[VGA (0.3M)]

- 静止画を記録するメディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

動画を分割する

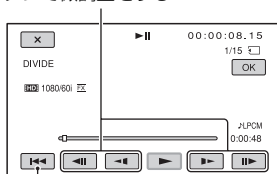
指定した場で動画を分割できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで ⏏(EDIT)メニュー→[DIVIDE] を選ぶ。

3 分割したい場でIIをタッチする。

IIで場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 [OK]をタッチする。

⚠ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、分割対象の記録メディアを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、IIで決定した分割点と実際の分割点とは若干のずれが生じることがあります。

💡ちょっと一言

- 本機では簡単な編集ができます。さらに編集する場合は、市販のソフトウェアをお使いください。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せます。

③ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、削除対象の記録メディアを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(57ページ)。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください(82、87ページ)。

④ちょっと一言

- 1度に100個までの画像を選べます。
- 記録メディアに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(62ページ)。

⑤ちょっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。**[X]**で選択画面に戻ります。
- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に**○→**が表示されます。
- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

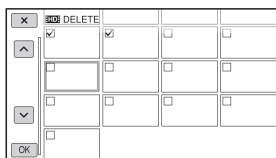
4 **[OK]** → **[OK]** → **[OK]** をタッチする。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで **[EDIT]**メニュー→ **[DELETE]**を選ぶ。

3 削除する動画・静止画をタッチする。

画像に**✓**マークが表示されます。



動画・静止画をコピーする

撮影した動画や静止画を以下のメディア間でコピーできます。

メモリーカード→フラッシュメモリーユニット

メモリーカード→外付けメディア

フラッシュメモリーユニット→メモリーカード

フラッシュメモリーユニット→外付けメディア

コピーする際は、各メディアを取り付けておいてください。

●ご注意

- フラッシュメモリーユニットに管理ファイルがない場合は、コピーできません。その場合は、MENUボタンを押して、[OTHERS]→[REPAIR IMAGE DB FILE]→[FMU]で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。

●ちょっと一言

- コピーしても、元の動画や静止画は削除されません。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイアルで [EDIT]メニュー→[COPY] を選ぶ。

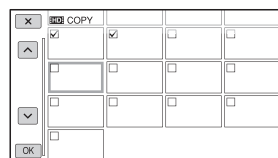
3 コピー元とコピー先を選ぶ。

4 「Multiple Images」を選ぶ。

5 画像の種類を選ぶ ([HDD] MOVIE)、([HSD] MOVIE)、 ([SD] PHOTO))。

6 コピーする動画や静止画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。
複数選択できます。



●ちょっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。

7 [OK]→[OK]→[OK]をタッチする。

すべての動画や静止画をコピーするには

手順4で[All]を選び、手順5で画像の種類を選ぶ。

記録メディアを初期化する

初期化とは記録メディア内のデータをすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

⚠注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像は保存してから(82, 87ページ)、[MEDIA FORMAT]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

1 MENUボタンを押す。

2 (OTHERS)メニュー→ [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

3 初期化する記録メディアを選ぶ。

4 → をタッチする。

⚠注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、記録メディアやACアダプター/チャージャーを取り外したりしないでください。(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します。)

記録メディア上のデータを復元しにくくする

記録メディアに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。初期化では削除できないデータが残るので、記録メディアを廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐためメディアデータ消去を行うことをおすすめします。

⚠注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データは保存(82, 87ページ)してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプター/チャージャーを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター/チャージャー以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプター/チャージャーを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 ACアダプター/チャージャーを使って電源をコンセントから取る(17ページ)。

2 電源スイッチを「ON」にする。

3 MENUボタンを押す。

4 (OTHERS)メニュー→ [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

5 初期化する記録メディアを選ぶ。 初期化の画面が表示されます。

6 [Empty] → をタッチする。

管理ファイルを修復する

⚠️ ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶画面上でご確認ください。
- [Executing...]が表示されている間に中止した場合は、中止した記録メディアを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

管理情報と記録メディアの動画・静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

⚠️ ご注意


- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MENUボタンを押す。


2 (OTHERS)メニュー→ [REPAIR IMAGE DB FILE]を選ぶ。

3 管理ファイルを確認する記録メディアを選ぶ。

4 をタッチする。

不整合が見つからなかった場合は、
 をタッチして終了してください。

5 をタッチする。

[Completed.]と表示されたら  をタッチする。

⚠️ ご注意

- [Repairing the Image Database File]が表示されている間に中止した場合は、中止した記録メディアを使う前に、管理ファイルを再度修復する必要があります。

メニューで設定を変更する

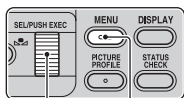
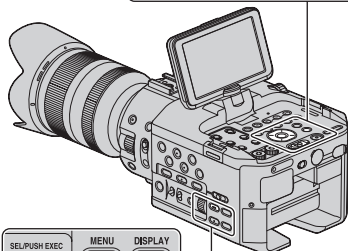
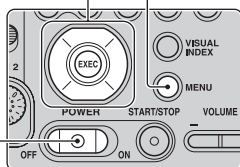
メニューの使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

POWERスイッチ

⬆/⬇/⬆/⬇/EXECボタン

MENUボタン



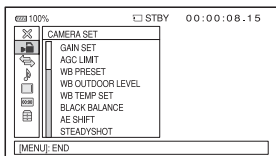
MENUボタン

SEL/PUSH EXEC
ダイヤル

1 POWERスイッチを「ON」にする。

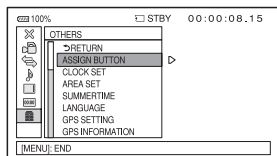
2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

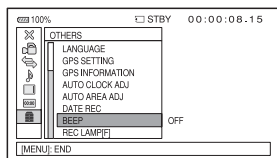


3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューのマークを選び、押して決定する。

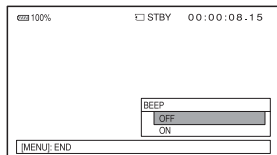
- CAMERA SET (69ページ)
- REC/OUT SET (71ページ)
- AUDIO SET (72ページ)
- DISPLAY SET (74ページ)
- TC/UB SET (77ページ)
- OTHERS (78ページ)
- EDIT (68ページ)




4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。



5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[ RETURN]を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。

メニュー一覧

- フォーマット切換やMENUによる機能実行、電源のOFFでお買い上げ時の設定に戻る機能です。

ASSIGN ASSIGNボタンに割り当てて使える機能です。



(CAMERA SET)メニュー (69ページ)

GAIN SET	GAINスイッチ「H」「M」「L」の値を設定する。	
AGC LIMIT	オートゲインコントロール(AGC)の上限を選ぶ。	
WB PRESET	プリセットホワイトバランスを選ぶ。	ASSIGN
WB OUTDOOR LEVEL	プリセットホワイトバランス[OUTDOOR]時のオフセット量を設定する。	
WB TEMP SET	プリセットホワイトバランス[MANU WB TEMP]時の色温度を設定する。	
BLACK BALANCE	黒の色ずれを調整する。	
AE SHIFT	AEシフトを設定する。	ASSIGN
STEADYSHOT	手ブレ補正を設定する。	ASSIGN
SMOOTH SLOW REC	なめらかなスローモーション映像を撮影する。	ASSIGN
S&Q MOTION	スローモーションやクイックモーションで撮影する。	
COLOR BAR	カラーバーの表示やトーンを設定する。	● ASSIGN



(REC/OUT SET)メニュー (71ページ)

REC SET	録画する画質やアスペクトなどを設定する。
VIDEO OUT	出力に関する設定をする。



(AUDIO SET)メニュー (72ページ)

HD AUDIO FORMAT	ハイビジョン画質(HD)時の記録音声を設定する。
AUDIO LIMIT	音割れ防止機能を設定する。
HEADPHONE OUT	ヘッドホンへの出力方式を選ぶ。
XLR SET	XLR入力(マイク/ライン)に関する設定をする。



(DISPLAY SET)メニュー (74ページ)

HISTOGRAM	ヒストグラムを表示する。	ASSIGN
ZEBRA	輝度レベル部分に縞模様を表示する。	ASSIGN
PEAKING	ピント合わせのために輪郭を強調する。	ASSIGN
MARKER	構図確認用のマーカーを表示する。	ASSIGN
CAMERA DATA DISPLAY	アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を表示する。	ASSIGN

AUDIO LEVEL DISPLAY	オーディオレベルメーターを表示する。	(ASSIGN)
ZOOM DISPLAY	ズーム位置の表示方法を選ぶ。	
LCD BRIGHT	液晶画面の明るさを調節する。	
DISPLAY OUTPUT	画面表示の出力先を選ぶ。	

00:00 (TC/UB SET)メニュー(77ページ)

TC PRESET	タイムコードを設定する。	
UB PRESET	ユーザービットを設定する。	
TC FORMAT	タイムコードの記録方式を選ぶ。	
TC RUN	タイムコードの歩進を選ぶ。	
TC MAKE	記録メディアへのタイムコードの記録方法を選ぶ。	
UB TIME REC	時刻をユーザービットにするかを選ぶ。	



(OTHERS)メニュー(78ページ)

ASSIGN BUTTON	ASSIGNボタンに機能を登録する。	
CLOCK SET	日時を設定する。	
AREA SET	本機を使う地域を設定する。	
SUMMERTIME	サマータイムを設定する。	
LANGUAGE	画面表示の言語を選ぶ。	
GPS SETTING	GPSを設定する。	
GPS INFORMATION	測位情報を表示する。	
AUTO CLOCK ADJ	GPSから時刻を取得して、正確な時刻を維持する。	
AUTO AREA ADJ	GPSから現在地情報を取得して、時差を検出した場合、自動的に補正する。	
DATE REC	日時の記録方法を選ぶ。	
BEEP	操作音を出す。	
REC LAMP [F]	本体前面の録画ランプを消す。	(ASSIGN)
REC LAMP [R]	本体後面の録画ランプを消す。	(ASSIGN)
REMOTE CONTROL	付属のワイヤレスリモコンを使えなくする。	
MEDIA FORMAT	記録メディアを初期化する。	

メニュー一覧(つづき)

REPAIR IMAGE DB FILE	管理情報と記録メディアの動画・静止画の整合性を 確認し、不整合があれば修復する。
USB CONNECT	USBケーブルで他機と接続したときに、[USB CONNECT]画面が表示されない場合に使う。
OPERATION TIME	本機を操作した累計時間を表示する。
CALIBRATION	タッチパネルを調整する。



(EDIT)メニュー (57、58、59、60ページ)

PROTECT	誤消去防止のため、画像をプロテクトする。
DIVIDE	画像を分割する。
DELETE	画像を削除する。
PHOTO CAPTURE	動画から静止画を切り出す。
COPY	動画や静止画をコピーする。

💡ちよっと一言


- [EDIT] メニューは、VISUAL INDEX画面や再生画面でMENUボタンを押すと、表示されます。

(CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/STEADYSHOTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

GAIN SET(ゲイン設定)

GAINスイッチ[H][M][L]の値を設定するときに選びます。

お買い上げ時の設定:

[H]: 18dB、[M]: 9dB、[L]: 0dB

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[H][M][L]のいずれかを選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルでゲインの設定値を選び、押して決定する。
0dB～30dBの間で、3dB間隔で選択できます。数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選ぶ。
- ④ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

AGC LIMIT(AGCリミット)

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を選びます。

▶OFF、27dB、24dB、21dB、18dB、
15dB、12dB、9dB、6dB、3dB、0dB

●ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

WB PRESET(WBプリセット)

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは33ページをご覧ください。

WB OUTDOOR LEVEL(WB屋外レベル)

プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]時のオフセット量を設定します。

-7～▶0～+7

(青め～標準～赤め)

WB TEMP SET(WB色温度設定)

プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定します。

設定範囲: 2300K～15000K(100K単位)

BLACK BALANCE(ブラックバランス)

34ページをご覧ください。

AE SHIFT(AEシフト)

■ ON/OFF

AE SHIFTの入/切を設定します。
[ON]に設定すると、設定した数値が表示されます(例: -2.0EV)。

■ LEVEL


SEL/PUSH EXECダイヤルで明るさを調節できます。

-2.0EV⇄0EV⇄+2.0EV

(暗い～標準～明るい)

●ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

ちょっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

STEADYSHOT(手ブレ補正)

NEX-FS100JKのみ

▶ STANDARD

比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

ACTIVE

強い手ブレ補正効果を得る。

OFF

手ブレ補正を行わない。
三脚使用時は[OFF]にすることをおすすめします。

ご注意

- [ACTIVE]はアクティブ手ブレ補正対応レンズを使用し、動画を撮影するときのみ選択できます。
- E16mm F2.8レンズ(別売)、およびAマウントレンズ(別売)装着時は設定できません。

ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

SMOOTH SLOW REC(スムーズスロー録画)

44ページをご覧ください。

S&Q MOTION(スロー&クイックモーション)

45ページをご覧ください。

COLOR BAR(カラーバー)

■ ON/OFF

▶ OFF

カラーバーを表示しない。

ON

カラーバーを表示、記録し、音声トーン信号を出力する。

本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

ご注意

- フォーマットを切り換えたり、MENUによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF](お買い上げ時の設定)に戻ります。
- [COLOR BAR]の設定は、録画中、拡大フォーカス中は変更することができません。
- カラーバーを記録するときは、タイムコードは歩進しません。

■ TONE

▶ OFF

音声トーン信号を出力しない。

ON

音声トーン信号(1kHz:フルビット-20dB)を出力する。
[ON/OFF]も[ON]に設定してください。

ちょっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。
- [TONE]を[OFF]にしてカラーバーを記録した場合、マイクからの音声記録されます。

↔ (REC/OUT SET) メニュー

録画、入出力に関する設定 (REC SET/
VIDEO OUT)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイヤルで、↔ (REC/OUT
SET)を選択すると表示されます。

REC SET (録画設定)

■ HD/SD SET

28ページをご覧ください。

■ HD REC FORMAT

28ページをご覧ください。

■ HD SIMULTANEOUS REC

27ページをご覧ください。

■ HD REC MEDIA SETTING

27ページをご覧ください。

■ SD WIDE REC

標準画質 (SD) で録画する場合の画像サイズ
を設定します。

▶ ON

16:9で記録する。

OFF (4:3)

4:3で記録する。

● ご注意

- ハイビジョン画質 (HD) で録画する場合は、画
像サイズは16:9に固定され、4:3にできません。

VIDEO OUT (映像出力)

■ HDMI/COMPONENT

HDMI/COMPONENT端子からの出力信号
の解像度を選びます。

1080p/480i

720p/480i

▶ 1080i/480i

480p

480i

■ DOWN CONVERT TYPE

映像信号出力形式を設定します。
16:9で撮影された動画や、静止画を出力する
際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮し
て出力する。

LETTER BOX (16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペ
クト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる
方法で出力する。

■ SD WIDE CONVERT

映像信号出力形式を設定します。
[SD WIDE REC]を[ON]にして録画した
SD動画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮し
て出力する。

LETTER BOX (16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペ
クト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる
方法で出力する。

🔍ご注意

- [SD WIDE REC]を[ON]にして標準画質(SD)で撮影した動画を4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、LETTER BOXまたは[EDGE CROP]に設定してください。
- [SQUEEZE]からその他の設定、その他の設定から[SQUEEZE]に切り換えるときに、一時画面が消えて、画像と音声が続切れます。

■ HDMI TC OUT

▶ OFF

タイムコード情報をHDMI出力信号に重畳しない。

ON

タイムコード情報をHDMI出力信号に重畳する。画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先機器がそのデータを参照することでタイムコードを知ることができる。

♪(AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定([HD] AUDIO FORMAT/XLR SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。
操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、♪(AUDIO SET)を選択すると表示されます。

[HD] AUDIO FORMAT(録音フォーマット)

ハイビジョン画質(HD)時の記録音声フォーマットを切り換えます。

▶ LINEAR PCM(♪LPCM)

リニアPCM方式で記録する。

DOLBY DIGITAL(♪DolbyD)

ドルビーデジタル方式で記録する。

🔍ご注意

- 標準画質(SD)の撮影では音声記録は[DOLBY DIGITAL]に固定されます。

AUDIO LIMIT(音声リミッター)

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をします。

▶ OFF

音割れ防止機能が働かない。

ON

音割れ防止機能が働く。

🔍ご注意

- AUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチが「MAN」のときのみに有効です。

HEADPHONE OUT(ヘッドホン出力)

HEADPHONE MONITORスイッチが「STEREO MIX」のときのヘッドホンに出力する方式を設定します。

▶STEREO

ステレオで出力する。

MONO

モノラルで出力する。

XLR SET(XLR設定)

■ XLR AGC LINK


外部マイク使用時のチャンネル1/2のAGC (Auto Gain Control)の連動/非連動を切り換えます。

▶SEPARATE

AGC非連動にする(チャンネル1/2を別々の音声として記録する)。

LINKED()

AGC連動にする(チャンネル1/2をステレオのように1組の音声として記録する)。

ステータスチェック画面に **A**  表示が出ます。

⚠ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「AUTO」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(35ページ)。

■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。

-18dB、-12dB、-6dB、▶0dB、+6dB、+12dB

⚠ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。


■ INPUT1 WIND

▶OFF

INPUT1端子の風音低減をしない。

ON

INPUT1端子の風音低減をする。

ステータスチェック画面に  が表示されます。

⚠ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

💡ちょっと一言

- 本機は-48dBuを0dBとして設計しています。
- 付属のマイクをお使いのときは、INPUT TRIMを[0dB]に設定してください。
- INPUT TRIM機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ場合、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめテストをしてご使用ください。

■ (DISPLAY SET) メニュー

画面の表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイヤルで、■ (DISPLAY SET)
を選択すると表示されます。

HISTOGRAM(ヒストグラム)

ヒストグラムは、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。

▶ OFF

ヒストグラムを表示しない。

ON

ヒストグラムを表示する。
100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わる。



ヒストグラム

ON[ZEBRA POINT]

ヒストグラムにゼブラポイントとして表示される。ZEBRAで設定されているレベルにラインが表示される。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

ZEBRA(ゼブラ)

明るさ調整をするときの目安にする便利です。

■ ON/OFF

▶ OFF

ゼブラを表示しない。

ON

■ とレベルが表示される。
記録した画像にゼブラは記録されません。

■ LEVEL

輝度レベルを選べます。

▶ 70~100または100+

💡ちょっと一言

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

PEAKING(ピーキング)

■ ON/OFF

▶ OFF

ピーキングを表示しない。

ON

PEAKINGが現れ、画面上に画像の輪郭が強調して表示される。
ピントが合わせやすくなります。

■ COLOR

ピーキングの色を選べます。

▶ WHITE、RED、YELLOW

■ LEVEL

ピーキング感度を選べます。

HIGH、▶ MIDDLE、LOW

📌ご注意

- 輪郭強調された画像は記録メディアに記録されません。

🗨️ちよつと言

- 拡大フォーカス(30ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

MARKER(マーカー)

■ ON/OFF

▶ OFF

マーカーを表示しない。

ON

マーカーを表示する。

マーカーは記録メディアに記録されません。

■ CENTER

▶ ON

画面の中心にマーカーを表示する。

OFF

センターマーカーを表示しない。



■ ASPECT

▶ OFF

アスペクト比を表示しない。

4:3、13:9、14:9、15:9

アスペクト比位置にマーカーを表示する。



■ SAFETY ZONE

▶ OFF

セーフティゾーンを表示しない。

80%、90%

どれかを選ぶと、一般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選んでマーカーを表示する。



■ GUIDEFAME

▶ OFF

ガイドフレームを表示しない。

ON

フレームを表示して被写体が水平/垂直になっているかを確認できる。



🗨️で注意

- マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしている場合、タイムコード以外は何も出力されません。
- 以下のとき、マーカーを表示できません。
 - [EXPANDED FOCUS]
 - [SMOOTH SLOW REC]中
- マーカー表示は、液晶画面のみに表示されます(外部に出力することはできません)。

🗨️ちよつと言

- すべてのマーカーを同時に表示できます。
- [GUIDEFAME]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

CAMERA DATA DISPLAY(カメラデータ表示)

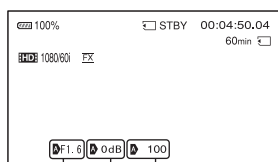
OFF

アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を表示しない。

▶ ON

アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。



アイリス値 シャッタースピード値
ゲイン値

💡ちよっと一言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、マニュアル設定時は設定値が表示されます。
- **A** は自動設定されていることを示します。
- DATA CODEボタンを押したときに表示される項目とは異なります(53ページ)。

AUDIO LEVEL DISPLAY(音声レベル表示)

▶ ON

オーディオレベルメーターを表示する。



オーディオレベルメーター

OFF

オーディオレベルメーターを表示しない。

💡ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

ZOOM DISPLAY(ズーム表示)

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値(0~99)で表示する。

LCD BRIGHT(パネル明るさ)

液晶画面の明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

DISPLAY OUTPUT(画面表示出力)

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

液晶画面に出力する。

ALL OUTPUT

HDMI出力、コンポーネント出力、VIDEO OUT端子と液晶画面に出力する。

🔔注意

- [MARKER]が[ON]で、画面に表示されているときは、タイムコード以外は何も出力されません。

00:00 (TC/UB SET)

メニュー

タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイヤルで、00:00 (TC/UB SET)を
選択すると表示されます。

TC PRESET(TCプリセット)

43ページをご覧ください。

UB PRESET(UBプリセット)

43ページをご覧ください。

TC FORMAT(TCフォーマット)

タイムコードの記録方式を選びます。

▶DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

ⓘで注意

- HD 1080/24pで記録するときは、[NDF]に固定されます。

💡ちょっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC RUN(TCラン)

タイムコードの歩進を選びます。

▶REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進する。
最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

ⓘで注意

- [REC RUN]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 録画フォーマットを切り換えたとき
 - メモリーカードとフラッシュメモリーユニットに同時記録したとき
 - 記録メディアを取り外したとき
- スロー&クイックモーション撮影時は、自動で[REC RUN]に固定されます。

TC MAKE

▶PRESET

新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

REGENERATE

記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。

[TC RUN]の設定に関係なく、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進する。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

🔔 ご注意


- [ON] のときは、下位2桁は00に固定されます。

(OTHERS) メニュー

撮影時の設定や、各種基本設定 (AREA SET/GPS/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

ASSIGN BUTTON (ASSIGN ボタン登録)

47ページをご覧ください。

CLOCK SET (日時あわせ)

21ページをご覧ください。

AREA SET (エリア設定)

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときに現地時刻に合わせることができます。

SUMMERTIME (サマータイム)

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[SUMMERTIME]を[ON]にすると、本機の時計が1時間進みます。

▶ OFF

サマータイムを設定しない。

ON

サマータイムを設定する。

LANGUAGE(言語)

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

ENG[SIMP]

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

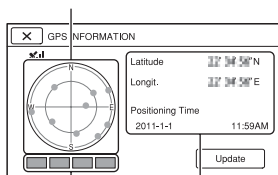
GPS SETTING

42ページをご覧ください。

GPS INFORMATION(GPS情報)

測位情報を表示します。

衛星アイコン



測位ゲージ

前回受信した情報

取得情報の見かた

衛星表示/測位 ゲージの色	状態
●/■(黒)	信号なし/軌道情報あり
●/■(グレー)	軌道情報33%取得済み
●/■(茶色)	軌道情報66%取得済み
●/■(黄土色)	軌道情報99%取得済み
●/■(緑)	測位利用中

位置情報が受信できなかったときは

測位優先モードが起動します。他の機能を停止して衛星を探求するので測位情報を受信しやすくなります。

手動で位置情報を受信するには

[Update] ボタンをタッチする。
測位優先モードが起動します。

測位情報画面を閉じるには

[X] をタッチする。

AUTO CLOCK ADJ(自動時刻補正)

GPSから時刻を取得して、正確な時刻を維持します。

▶ ON


自動で時刻を補正する。

OFF

自動で時刻を補正しない。

❗ ご注意

- 日時合わせ(21ページ)をしておいてください。
- [AUTO CLOCK ADJ]は、数秒の誤差が生じることがあります。
- [AUTO CLOCK ADJ]は、本機の起動中にGPS信号を受信して測位に成功したときに時刻を補正します。一度補正したら次の起動まで行いません。
- 地域によっては、[AUTO CLOCK ADJ]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[OFF]にしてください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

AUTO AREA ADJ(自動エリア補正)

GPSから現在地情報を取得して、時差を検出した場合、自動で補正します。

▶ ON

自動で時差を補正する。

OFF

自動で時差を補正しない。

📢注意

- 日時合わせ(21ページ)をしておいてください。
- [AUTO AREA ADJ]は、時差を検出した場合に自動で時差補正を行います。
- 地域によっては、[AUTO AREA ADJ]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[OFF]にしてください。

DATE REC(日付記録)

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

📢ちょっと一言

- スキャン方式がインターレース(i)のときのみ設定できます。
- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字には影響ありません。

BEEP(操作音)

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

撮影スタート/ストップ時の操作時や、警告表示時などにメロディが鳴る。

REC LAMP[F](録画ランプ前)

▶ ON

本体前面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体前面の録画ランプが点灯しない。

📢ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

REC LAMP[R](録画ランプ後)

▶ ON

本体後面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体後面の録画ランプが点灯しない。

📢ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(47ページ)。

REMOTE CONTROL(リモコン)

▶ ON

付属のワイヤレスリモコン(116ページ)を使う。

OFF

他機のリモコンによる誤動作を防げます。

MEDIA FORMAT(メディア初期化)

62ページをご覧ください。

REPAIR IMAGE DB FILE(管理ファイル修理)

63ページをご覧ください。

USB CONNECT(USB接続)

USBケーブルで他機と接続したときに、
[USB CONNECT]画面が表示されない
場合に使います。

OPERATION TIME(通電時間)

本機を操作した時間を累計して、10時間
単位で表示します。

CALIBRATION(キャリブレーション)

106ページをご覧ください。

外付けメディアを使って保存する

外付けハードディスクなどのメディアに、メモリーカードまたはフラッシュメモリーユニットに記録された動画・静止画を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

⚠注意

- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。

💡ちょっと一言

- 外付けメディアに保存した画像は付属のソフトウェア「Content Management Utility」で取り込むこともできます。

外付けメディアに保存後にできること

- 本機を経由した画像の再生(83ページ)
- パソコンへの取り込み

使用できない外付けメディアについて
次の機器は外付けメディアとして使えません。

- 容量が2TBを超える外付けメディア
- 一般のDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
- ハブを経由してつないでいる外付けメディア
- 内部にハブを構成している外付けメディア
- カードリーダー

⚠注意

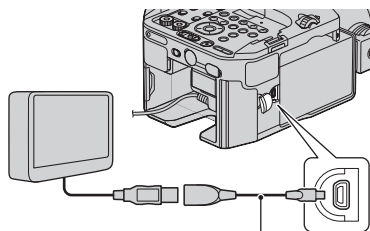
- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機で初期化された外付けメディアの場合は、本機で初期化してからお使いください。初期化画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでも初期化画面が表示されることがあります。接続する機器に大切なデータが残っていないことを確認したうえで初期化を行ってください。
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。

1 ACアダプター/チャージャーを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(17ページ)。

2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

3 USBアダプターケーブル(付属)と外付けメディアをつなぐ。

4 本機の電源を入れ、USBアダプターケーブル(付属)と本機の⚡(USB)端子をつなぐ。



USBアダプターケーブル(付属)

5 本機の画面で、[Copy.]をタッチする。

6 [MEMORY CARD]か[FMU]を選ぶ。

記録メディアに記録された画像のうち、外付けメディアに保存されていない画像だけが保存されます。

- 新たに記録した画像がない場合、この画面は表示されません。

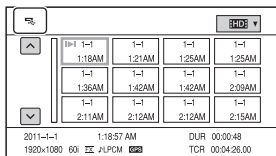
7 終了するには、本機の画面で[OK]をタッチする。


ⓘ ご注意

- 外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。
 - － ハイビジョン画質(HD)の動画：最大3,999個
 - － 標準画質(SD)の動画：9,999個
 - － 静止画：最大40,000枚

外付けメディアの画像を本機で見る

外付けメディアと接続中は、外付けメディアに保存した画像が、本機の液晶画面に表示されます。VISUAL INDEX画面の記録メディアアイコンが図のように変わります。



画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。MENUボタンを押して、 (EDIT)メニューを選んでください。

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って、ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにコピーできます。お使いの機器によっては操作が異なる場合がありますので、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

使えるディスク

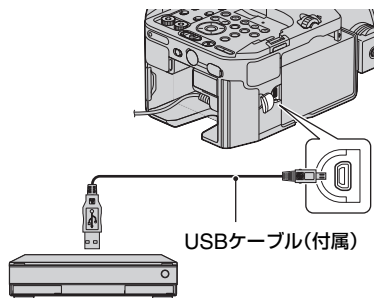
お使いのブルーレイディスクレコーダーによって使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

●ご注意

- お使いのブルーレイディスクレコーダーの種類によっては、USB端子が無い場合があります。その場合は、A/V接続ケーブルで接続してください(86ページ)。

1 ACアダプター/チャージャーを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(17ページ)。

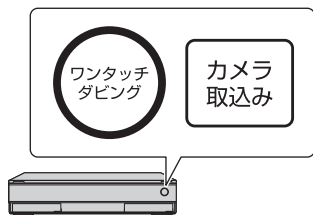
2 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機の(USB)端子とレコーダーなどをつなぐ。



[USB CONNECT]画面が表示されます。

- [USB CONNECT]画面が表示されないときは、MENUボタンを押して、[OTHERS]メニュー→[USB CONNECT]を選んで表示させてください。

3 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取込み」ボタンあるいは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



カメラ取り込みがされていない画像が取り込まれます。

- ハイビジョン画質(HD)と標準画質(SD)両方の取り込まれていない動画がある場合は、ハイビジョン画質(HD)のみが取り込まれます。
- ボタンの位置や形状は、レコーダーの種類によって異なります。また、USB端子があっても上記のボタンが搭載されていないレコーダーもあります。詳しい操作方法は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

4 終了するには、本機の画面で[END]→[YES]をタッチする。

5 USBケーブルを取り外す。

DVDライターでハイビジョン画質(HD)のディスクを作る

DVDライターと本機を、USBケーブルで接続します。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

●ご注意

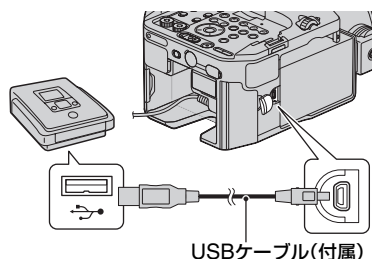
- ソニー製DVDirect(DVDライター)を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
<http://www.sony.jp/dvdirect/>

4 ディスク作成が終わったら、本機の画面で **[X] → [YES]** をタッチする。

5 USBケーブルを取り外す。

1 ACアダプター/チャージャーを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(17ページ)。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機の Ψ (USB) 端子とDVDライターなどをつなぐ。



[USB CONNECT] 画面が表示されません。

- [USB CONNECT] 画面が表示されないときは、MENUボタンを押して、[OTHERS] メニュー→[USB CONNECT]を選んで表示させてください。

3 接続先機器で録画操作を行う。

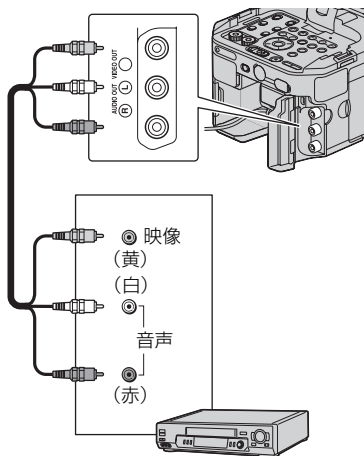
詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

レコーダーなどで標準画質(SD)のディスクを作る

本機をディスクレコーダーや、DVDirect Express以外のソニー製DVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像をディスクやビデオセットへコピーできます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

❖ご注意

- 本機の電源は、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ってください(17ページ)。
- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(SD)でダビングされます。



1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル(付属)でつなぐ。

接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 コピーが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

❖ご注意

- アナログデータを経由してコピーするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってコピーできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENUボタンを押して、[DISPLAY SET]→[DISPLAY OUTPUT]→[LCD PANEL]を選んでください。
- 日時やカメラデータ、GPS測位情報をコピーしたいときは、DATA CODEボタンを押して、お好みの表示に設定してください。さらに、MENUボタンを押して、[DISPLAY SET]→[DISPLAY OUTPUT]→[ALL OUTPUT]を選んでください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズに合わせて、[DOWN CONVERT TYPE]を設定してください(71ページ)。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする(Windows)

「Content Management Utility」を使うと次の操作ができます。

- パソコンへの画像の取り込み
- 取り込んだ画像の閲覧
- フラッシュバンドの検出/補正

パソコンで動画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROM「Content Management Utility」からインストールします。

画像の編集や、ディスク作成などを行う場合は、市販のソフトウェアをお買い求めください。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS^{*1}

Microsoft Windows XP SP3^{*2}/
Windows Vista SP2/Windows 7

CPU

ハイビジョン(HD)画質のうち、最高画質モードで録画した動画を再生するには、Intel Core 2 Duo 2.80GHz相当以上のCPUをお使いください。

ハイビジョン(HD)画質のうち、最高画質以外のモードで録画した動画については、この性能以下のCPUでも再生が可能な場合があります。

また、ビデオカードの性能によっては、この性能以下のCPUでも、最高画質モードで録画したハイビジョン(HD)画質の動画を再生できる場合があります。

以下の場合、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。

- 動画のパソコンの取り込み
- 標準画質(SD)の動画のみを扱う場合

メモリー

Windows XP:512MB以上(1GB以上を推奨します。)

Windows Vista/Windows 7:1GB以上

ハードディスク

インストールに必要なディスク容量:

約100MB

取り込み、閲覧登録できるファイルシステムは、NTFSまたはexFATのみです。

ディスプレイ

解像度1,024×768ドット以上

その他

USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠))

(インストールにはCD-ROMドライブが必要)

^{*1}工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

^{*2}64bit 版は除きます。

●ご注意

- すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
- 付属のソフトウェア「Content Management Utility」はMacintoshに対応していません。

準備2 付属 ソフトウェア「Content Management Utility」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「Content Management Utility」をインストールします。

① パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

② パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

③ パソコンのディスクドライブに CD-ROM「Content Management Utility」(付属)をセットする。

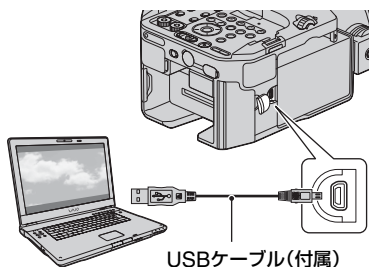
インストール画面が表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、
[スタート]→[コンピュータ](Windows

パソコンを使って保存する(つづき)

XPの場合は[マイ コンピュータ]をクリックし、[SONYCMU(E:)](CD-ROM)をダブルクリックしてください。

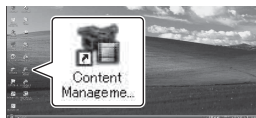
- ④ アプリケーションをインストールする言語を選んで、[OK]をクリックする。
- ⑤ インストールウィザード画面が表示されたら[次へ]をクリックする。
- ⑥ 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は[次へ]をクリックする。
- ⑦ インストール先を選択して[次へ]をクリックする。
- ⑧ デスクトップショートカットの作成を選択して[次へ]をクリックする。
- ⑨ 本機の電源を入れ、USB ケーブルで本機とパソコンをつなぐ。



本機に[USB CONNECT]画面が表示されます。


- ⑪ [次へ]をクリックする。
- ⑫ パソコンの画面に従ってインストールする。
 - パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、手順⑨の選択によってデスクトップにアイコンが表示されます。



- ⑬ パソコンから CD-ROM を取り出す。

本機とパソコンの接続を終了するには

- ① パソコンのデスクトップ右下で、 アイコン → [USB 大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。



- ② 本機の画面で[X]→[YES]をタッチする。
- ③ USB ケーブルを取り外す。

⚠ご注意

- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、付属の「Content Management Utility」を使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- 長い時間撮影を行い動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されています。その為、録画後の記録メディア内を直接パソコンで見ると、複数のファイルに分割されて見える場合があります。
- 付属の「Content Management Utility」を使わずに取り込みをおこなうと、撮影中に2GBを超えて自動的に生成されたファイルがうまく連結できない場合もあります。他の編集ソフトをご利用の場合でも、パソコンへの取り込みには、付属の「Content Management Utility」をお使いください。ファイルは連結されてパソコンに取り込まれます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 89～95 ページの項目をチェックし、本機を点検する。



② 電源を取り外し、約 1 分後再び取り付け、本機の電源を入れる。



③ RESET ボタン(115 ページ)を先の細いもので押してから、電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。



④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて・・・89ページ
- メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて・・・90ページ
- 撮影について・・・91ページ
- 再生について・・・93ページ
- テレビ接続について・・・94ページ
- コピー/編集/外部機器接続について・・・94ページ
- GPSについて・・・95ページ
- パソコン接続について・・・95ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(16ページ)。
- ACアダプター/チャージャーをコンセントに差し込む(17ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはDK-415ケーブル)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET(リセット)ボタン(115ページ)を先のとがったもので押す。

本体が温くなる。

- 本機使用中に本体が温くなることがありますが、故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(16、105ページ)。

困ったときは

故障かな？と思ったら(つづき)

- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(16、105ページ)。

液晶画面の画像がはっきりしない。

- 大型LCDビューファインダーを取り付けている場合は、画像がはっきり見えるように視度調節リングを回す(13ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL] を [ON] にする(80ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(116ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- リモコン側の機器からの操作に対して反応が遅くなる場合があります。
- 本体側のREMOTE端子を挿したままの状態 で 接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合がありますので本体側のREMOTE端子を抜いてください。

メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(62ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(101ページ)。

記録メディアのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生した記録メディアがある。すべての記録メディアの記録を停止し、データ修復を行う。

記録メディアの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(57ページ)。

撮影について

START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する(49ページ)。
- 記録メディアの空き容量がない。新しい記録メディアに変えるか、初期化する(62ページ)。または不要な画像を削除する(60ページ)。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(99ページ)。不要な画像を削除する(60ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 記録中に異常が発生した記録メディアがある。すべての記録メディアの記録を停止し、データ修復を行う。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなることがあります(98ページ)。

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります(66ページ)。
- 拡大フォーカスの設定は保持されません。
- POWERスイッチが「ON」のまま電源を外した。バッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外すときは、POWERスイッチを「OFF」にして、アクセスランプが点灯していないことを確かめてから、外してください。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

アスペクト比が切り換えられない。

- ハイビジョン画質(HD)のときは、動画の比率は切り換えられません。

故障かな？と思ったら(つづき)

オートフォーカスができない。

- FOCUSスイッチを「AUTO」にして自動調節にする(29ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる(29ページ)。
- Eマウントレンズに交換する(20ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つが手動設定のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]の[ON/OFF]	[EXPANDED FOCUS]が[ON]のとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[COLOR BAR]	動画撮影中 [EXPANDED FOCUS]が[ON]のとき

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(32ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(32ページ)。

画面が上下分割されたように見える。

- 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります(32ページ)。

- 付属のソフトウェア「Content Management Utility」で修正可能な場合もありますので、お試しください。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(32ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]で「-」側に調整する(41ページ)。

タイムコードがつかない。

- [HDD/SSD SET]や[HDD/REC FORMAT]で設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

再生について

「メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて」(90ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- VISUAL INDEX画面上で再生したい画像が記録されている記録メディアと画質を選択する(49ページ)。
- パソコンでフォルダーやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります(静止画再生時はファイル名が点滅)。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- VISUAL INDEX画面を表示して、再生したいサムネイルを2度タッチするか、◀/▶/▶ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXECボタンを押す(50ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(101ページ)。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(51ページ)。
- [SMOOTH SLOW REC]で記録した箇所には音声記録されません。

「――」が表示される。

- [SMOOTH SLOW REC]や[COLOR BAR]を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。
- [PHOTO CAPTURE]で作成した静止画では、露出補正值とフラッシュ情報がバー表示になります。

故障かな？と思ったら(つづき)

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 接続する機器に合わせて[VIDEO OUT]を正しく設定する(71ページ)。
- コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ(55ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力できません。

HDMIケーブルを使用して、テレビやプロジェクター、AVアンプにつないでも、画像や音声
が再生されない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[REC/OUT SET] → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE] で映像信号出力形式を選択してください(71ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で故障ではありません。

コピー/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(76ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってコピーができない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってコピーができない。

- HDMIケーブルを使ってもコピーはできません。

GPSについて

GPSが受信できない。

- 障害物の影響でGPS衛星の電波が受信できません。見晴らしの良い場所に移動してください。電波の届かない場所について詳しくは、102ページをご覧ください。
- GPS信号を受信しにくい環境でも測位できるように、測位情報をご使用ください(79ページ)。

測位している位置がずれる。

- 周囲の建物などで反射したGPSの電波を受信した場合、また受信したGPSの電波が弱い場合など、最大で数百メートルの誤差を生じます。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ(87ページ)。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むには付属のソフトウェアのインストールが必要です(87ページ)。

パソコンがハングアップする。

- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ(87ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面に、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム” 以外のバッテリーが使われている。必ず “インフォリチウム” バッテリーを使う (104ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- 記録メディアを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 89ページの②～④の手順でお試しください。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。

⚠ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

🗂 (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、23ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない (23ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか (60ページ)、画像を保存 (バックアップ) してから (82、87ページ)、メモリーカードを初期化する (62ページ)。
- 管理ファイルが壊れている (63ページ)。

🗂 (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない (62ページ)。

🗂 (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている (23ページ)。

🗂 (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

🗂 (フラッシュメモリーユニット関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるフラッシュメモリーユニットについては、25ページをご覧ください。
- フラッシュメモリーユニットが装着されていない (23ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(60ページ)、画像を保存(バックアップ)してから(82,87ページ)、フラッシュメモリーユニットを初期化する(62ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(63ページ)。

お知らせメッセージ

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

(フラッシュメモリーユニット初期化関連の警告)*

- フラッシュメモリーユニットが壊れている。
- フラッシュメモリーユニットが正しく初期化されていない(62ページ)。

(外付けメディア関連の警告)

- 管理ファイルが壊れている。
MENUボタンを押し、 (OTHERS) メニュー→[REPAIR IMAGE DB FILE]→記録メディアを選んで、管理ファイルの状態をチェックする。
- 外付けメディアが壊れている。

(外付けメディアのフォーマット関連の警告)

- 外付けメディアが壊れている。
- 外付けメディアを正しくフォーマットする。
- それでも表示される場合は、外付けメディアを接続し直したあと、フォーマットする。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットに失敗する場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換する。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(80ページ)。

記録時間について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

(単位:分)

バッテリー 型名	連続撮影時	実撮影時
NP-F770	340	195
NP-F970	510	290

⚠️注意

- 録画フォーマット1080/24p FX
- E 18-200mm F3.5-6.3 OSSレンズ[®]使用時
- ECM-XM1マイクをINPUT 1端子に接続して使用時
- メモリーカード使用時
- 実撮影時とは、録画/録画スタンバイ、電源ON/OFFなどを繰り返したときの撮影時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。10℃～30℃の環境で使用することをおすすめします。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。
- * NEX-FS100JK に付属

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

(単位:分)

バッテリー型名	
NP-F770	435
NP-F970	660

⚠️注意

- 液晶画面で再生時。

動画の撮影可能時間の目安

ハイビジョン画質(HD)

■ [HD] AUDIO FORMATの設定が [LINEAR PCM] のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
1GB	4 (4)	4 (4)	6 (6)	10 (8)	15 (10)
2GB	8 (8)	10 (10)	10 (10)	20 (15)	35 (30)
4GB	15 (15)	20 (20)	25 (25)	45 (35)	70 (60)
8GB	35 (35)	40 (40)	55 (55)	90 (70)	145 (125)
16GB	70 (70)	80 (80)	110 (110)	185 (145)	295 (255)
32GB	145 (145)	170 (170)	225 (225)	375 (295)	590 (510)

■ [HD] AUDIO FORMATの設定が [DOLBY DIGITAL] のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
1GB	4 (4)	5 (5)	7 (7)	10 (9)	20 (15)
2GB	9 (9)	10 (10)	10 (10)	25 (15)	45 (35)
4GB	15 (15)	20 (20)	30 (30)	50 (40)	90 (75)
8GB	35 (35)	40 (40)	60 (60)	105 (80)	190 (155)
16GB	75 (75)	90 (90)	120 (120)	215 (165)	380 (310)
32GB	150 (150)	180 (180)	245 (245)	440 (330)	770 (630)

標準画質(SD)

(単位:分)

	HQ
1GB	10 (10)
2GB	25 (25)
4GB	55 (50)
8GB	110 (100)
16GB	225 (210)
32GB	460 (420)

⚠️ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や、被写体の状態、[REC SET] (71ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

💡ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質(HD)で最大3,999個、標準画質(SD)で9,999個です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。

- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は以下のとおりです。

HD画質

PS:最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9

FX:最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9

FH:約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9

HQ:約9Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9

LP:約5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9

SD画質

HQ:約9Mbps(平均) 720×480画素/16:9、4:3

- 静止画記録画素数およびアスペクト比
動画から静止画作成
1,920×1,080ドット/16:9
640×360ドット/16:9
640×480ドット/4:3

連続撮影時間の目安

動画の連続撮影可能時間は、約13時間で
す。

スロー&クイックモーション撮影時

再生ストリーム長や記録動作時間は、およそ以下ようになります。

再生ストリーム長

fps	60p	30p	24p
1	12分	24分	30分
2	24分	54分	1時間6分
4	48分	1時間36分	2時間
8	1時間36分	3時間18分	4時間6分
15	3時間18分	6時間30分	8時間6分
30	6時間30分	13時間	13時間
60	13時間	13時間	13時間

記録動作時間

fps	60p	30p	24p
1	13時間	13時間	13時間
2	13時間	13時間	13時間
4	13時間	13時間	13時間
8	13時間	13時間	13時間
15	13時間	13時間	13時間
30	13時間	13時間	10時間24分
60	13時間	6時間30分	5時間12分


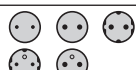

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
別売のACアダプター/チャージャーAC-VQ1051D(ACCKIT-D12Bに付属)は、全世界の電源(AC100V~240V、50/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
↓ 使用する変換プラグアダプター	不要	

ハイビジョン画質(HD)で見るには

ハイビジョン画質(HD)で記録した画像をハイビジョン画質(HD)で見るには、ハイビジョン対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントビデオケーブル(付属)またはHDMIケーブル(別売)が必要です。本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

標準画質(SD)で見るには

標準画質(SD)で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

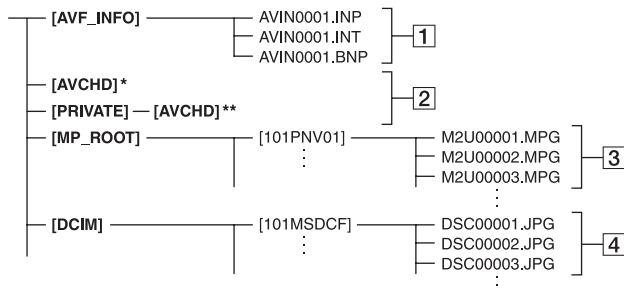
アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能について

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(78ページ)。

メモリーカード/フラッシュメモリーユニットの ファイル/フォルダー構成

本機の記録メディア上のファイル/フォルダー構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* “メモリースティック PRO デュオ”、フラッシュメモリーユニット

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

フォルダーが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。

フォルダー名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 HD 動画管理情報フォルダー

本フォルダー以下にハイビジョン画質(HD)の動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダーや、本フォルダー内のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 SD 動画ファイル(MPEG-2 ファイル)

拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダーが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。

フォルダー名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

4 静止画ファイル(JPEG ファイル)

拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しい

- パソコンから本機のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、60ページの手順で行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機の記録メディアをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 記録メディアのデータをパソコンに取り込むには、付属のソフトウェア「Connect Management Utility」をご使用ください。

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD（ハイビジョン）記録ができます。また、AVCHD規格でのHD（ハイビジョン）記録に加え、従来のMPEG-2規格で標準（SD）記録することもできます。

映像*：MPEG-4 AVC/H.264

1920×1080/60i、1920×1080/24p、

1280×720/60p、1440×1080/60i

音声：ドルビーデジタル 2ch、リニアPCM 2ch

記録メディア：メモリーカード、フラッシュメモリーユニット（別売）

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

- 1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格
- 720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格

GPSについて

GPS(Global Positioning System)とは、米国の高精度な航空衛星を利用した、地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報（アルマナックデータ）と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星を3機以上受信できれば、経度、緯度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し、測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、測位情報を記録できないことがあります。
 - ー トンネルの中・屋内やビルの陰
 - ー 高層ビルの間・建物間の狭い道路
 - ー 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
 - ー 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合

誤差について

- [GPS]を[ON]にした直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防省によ

り管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。

● 測位時間による誤差

本機では、測位中に測位情報を定期的に取得しています。

規制について

使用する国や地域の規制に従ってGPS機能をお使いください。

測地系について

本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

メモリーカードについて

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。

- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、62ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティック PRO- HG デュオ”	○

- 本機はパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメディアによって転送速度は異なります。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)の高容量バッテリーNP-F770/F970(別売)がお使いいただけます。NP-F570はお使いいただけません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには

① InfoLITHIUM ② マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、ACアダプター/チャージャーの充電ランプが消えるまで

充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー(NP-F770/F970(別売))を使う。
- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- 液晶画面の残量表示マークと%表示で確認してください。

残量表示マーク	%表示
	61%～100%
	41%～60%
	21%～40%
	1%～20%
	—

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われしますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ばかりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所です。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。

お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。


使用上のご注意とお手入れ(つづき)

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

■ タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は別売のACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

- ① MENU ボタンを押す→ SEL/PUSH EXEC タイヤルで、 (OTEHRS)→ [CALIBRATION] を選択する。



- ② メモリーカードの角のような先の細いものを使って画面に表示される×マークを3回タッチする。

⚠️ ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、反転したまま本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装が剥がれたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - － シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
 - － 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - － ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプター/チャージャーでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプター/チャージャーで電源につながらない、またはバッテリーを入れないまま**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

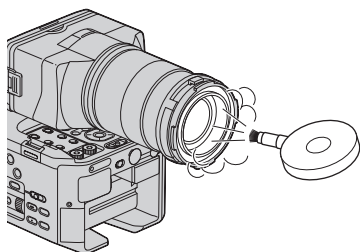
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を別売のACアダプター/チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

ファインダーのお手入れについて

接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。



本機の廃棄に関するご注意

本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式	NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i、1080/60p、 720/60p方式
ビデオ記録 方式	HD画質：MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD規格準拠（1080/60p：独 自規格） SD画質：MPEG-2 PS
音声記録方式	リニアPCM 2ch（48kHz 16bit） Dolby Digital 2ch（48kHz 16bit） ドルビーデジタルステレオクリ エーター搭載
静止画ファ イルフォーマ ット	DCF Ver.2.0準拠 Exif Ver.2.3準拠 MPF Baseline準拠
記録メディア （動画・静止 画）	“メモリスティック PRO デュ オ” フラッシュメモリーユニット SDカード（Class 4以上）
撮像素子	“Exmor” Super35 CMOSセン サー 23.6mm×13.3mm（対角 27.1mm） 総画素数：約353万画素 動画時有効画素数（16:9モー ド）：約337万画素 動画時有効画素数（4:3モード）： 約253万画素
色温度切り換 え	オート ワンプッシュ（A、B） 屋内（3 200K） 屋外（5 800K）
最低被写体照 度	1.5 lx（ルクス） シャッタースピード固定（1/30）、 オートゲインコントロール、アイ リスオート（E 18-200 mm F3.5- 6.3 OSS*使用時）

* NEX-FS100JK に付属

入/出力端子

VIDEO OUT 端子	ピンジャック 1Vp-p、75Ω不平衡、同期負
AUDIO OUT端子	ピンジャック -10dBu（47kΩ負荷時）、 出力インピーダンス2.2kΩ以下 （0dBu=0.775Vrms）
COMPO- NENT OUT 端子	ミニD端子 Y：1Vp-p、75Ω Pb/Pr、Cb/Cr：0.7Vp-p、75Ω
リモート端子	ステレオミニミニジャック （φ2.5mm）
HDMI OUT 端子	HDMIコネクター（タイプA）
USB端子	mini-AB
⌚（ヘッドホ ン）端子	ステレオミニジャック （φ3.5mm）
INPUT1/ INPUT2端子	XLR型3ピン×2、凹 MIC：-48dBu：3kΩ LINE：+4dBu：10kΩ （0dBu=0.775Vrms）

液晶画面

画面サイズ	8.8cm（3.5型、アスペクト比 16:9）
総ドット数	921 600ドット 横1 920×縦480

電源部、その他

電源電圧	DC7.2V(バッテリーパック使用時) DC8.4V(ACアダプター/チャージャー使用時)
消費電力	マイク(ECM-XM1)、液晶画面使用時、明るさ標準、E 18-200 mm F3.5-6.3 OSS*使用時: 5.6W フラッシュメモリーユニット HXR-FMU128使用時は、消費電力が約1.1W増えます。
動作温度	0℃～40℃
保存温度	-20℃～+60℃
本体外形寸法 (突起部含む)	約126.5mm×101.5mm× 193.5mm(幅×高さ×奥行き)
撮影時外形寸法 (突起部含む)	約178mm×192mm× 519.5mm(幅×高さ×奥行き) (レンズ*、レンズフード*、ビューファインダー、大型アイカップ、ハンドル、マイク(ECM-XM1)、グリップ(ベルト無し)含む)
本体質量	約1 040g
撮影時総質量	約2 660g (バッテリーパック(NP-F770)、レンズ*、レンズフード*、ビューファインダー、大型アイカップ、ハンドル、マイク(ECM-XM1)、グリップ(ベルト無し)含む)

* NEX-FS100JK に付属

E 18-200 mm F3.5-6.3 OSS (NEX-FS100JKに付属)

レンズ	Eマウントレンズ
35mmカメラ換算	動画撮影時(16:9):28.8mm - 320mm 動画撮影時(4:3):36mm - 400mm
F値	F3.5-F6.3
手ブレ補正	光学シフト2実リニア駆動+ホール素子
最短撮影距離*	0.30m (W) - 0.50m (T)
最大撮影倍率	0.35倍
最小絞り	f/22 - f/40
フィルター径	67mm
外形寸法(最大径×長さ)	約75.5mm×99.0mm
質量	約524 g

* 最短撮影距離とは、イメージセンサー面から被写体までの最短距離を表します。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にし、て故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、レンズ*は7年間、本体は8年間保有しています。

この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

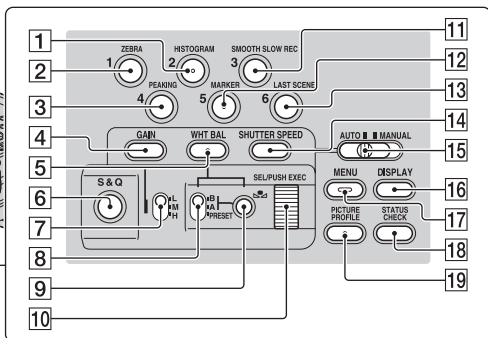
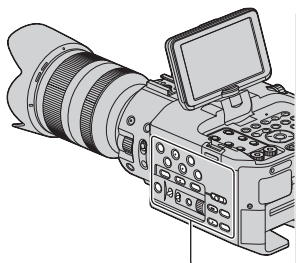
* NEX-FS100JKのみ


■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

()内は参照ページです。

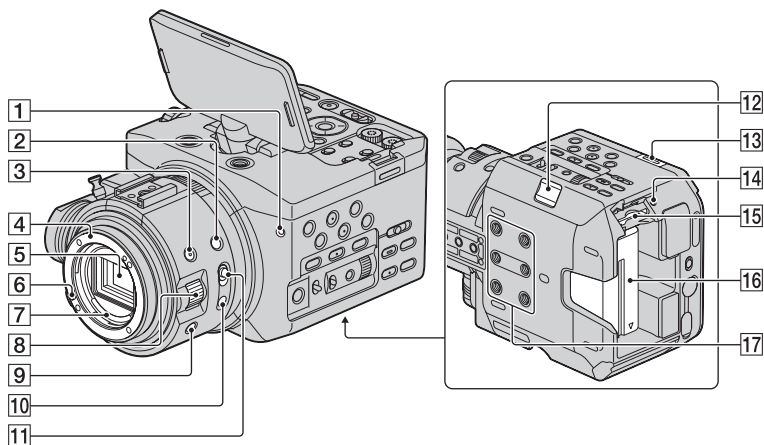


- 1 HISTOGRAM/ASSIGN2ボタン* (47)
- 2 ZEBRA/ASSIGN1ボタン(47)
- 3 PEAKING/ASSIGN4 ボタン(47)
- 4 GAINボタン(31)
- 5 WHT BALボタン*(33)
- 6 S&Q ボタン(45)
- 7 ゲインスイッチ(31)
- 8 ホワイトバランスメモリースイッチ(34)
- 9  (one push) ボタン(34)
- 10 SEL/PUSH EXECダイヤル(21, 64)
- 11 SMOOTH SLOW REC/ASSIGN3 ボタン(42, 47)
- 12 MARKER/ASSIGN5ボタン*(47)
- 13 LAST SCENE/ASSIGN6ボタン(47, 47)
- 14 SHUTTER SPEEDボタン(32)
- 15 AUTO/MANUALスイッチ(31)
- 16 DISPLAYボタン(53)
- 17 MENUボタン**(21, 64)
- 18 STATUS CHECKボタン(54)
- 19 PICTURE PROFILEボタン*(37)

* HISTOGRAM/ASSIGN2ボタン、MARKER/ASSIGN5ボタン、WHT BALボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

** MENUボタンに凸バー(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

各部のなまえ(つづき)



1 前部録画ランプ(80)

記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

2 EXPANDED FOCUSボタン(30)

3 IRISボタン(31)

4 マウント(18)

5 イメージセンサー

6 レンズロックピン

7 レンズ信号接点

直接手で触れたり、汚したりしないでください。

8 アイリスリング(31)

9 IRIS PUSH AUTOボタン(31)

10 PUSH AUTOボタン(30)

11 FOCUSスイッチ(29)

12 BATT RELEASEボタン(16)

13 ショルダーストラップ取り付け部

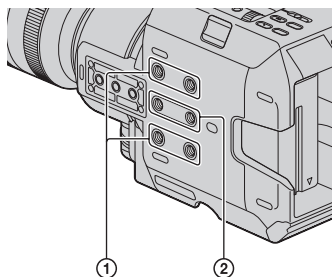
14 アクセスランプ(24)

15 メモリーカード スロット(23)

16 バッテリー(16)

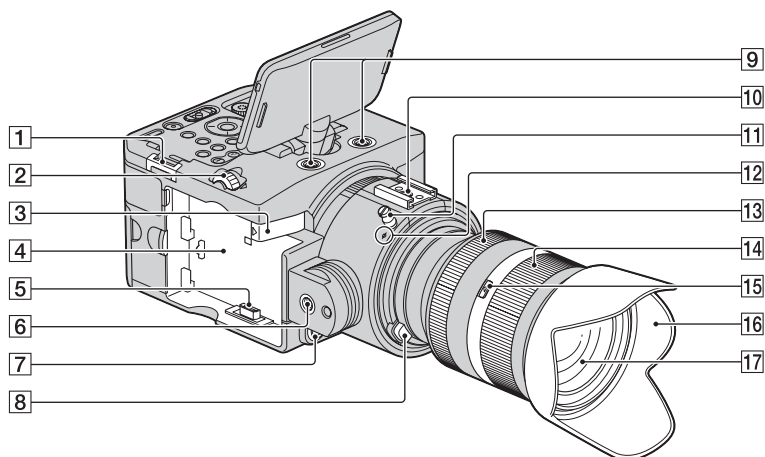
17 三脚用ネジ穴

三脚(別売、ネジの長さ5.5mm以下)を取り付けます。



① 1/4-20UNC のネジに対応

② 3/8-16UNC のネジに対応

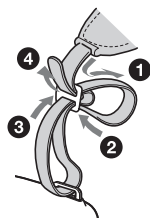


- 1 ショルダーストラップ取り付け部
- 2 LCD HOLD(液晶画面保持)ダイヤル(14)
- 3 フラッシュメモリーユニット RELEASE レバー(25)
- 4 フラッシュメモリーユニット取り付け部(25)
- 5 フラッシュメモリーユニット端子
- 6 グリップ取り付けネジ穴(12)
- 7 START/STOP ボタン(27)
- 8 レンズ取り外しボタン(18)
- 9 拡張ネジ穴(1/4 インチ)
1/4-20UNCのネジに対応
- 10 アクセサリーシュー(15)
- 11 メジャーフック(14)
- 12 イメージセンサー位置マーク
- 13 フォーカスリング(29)(NEX-FS100JKのみ)
- 14 ズームリング(29)(NEX-FS100JKのみ)
- 15 ズームロックスイッチ(NEX-FS100JKのみ)

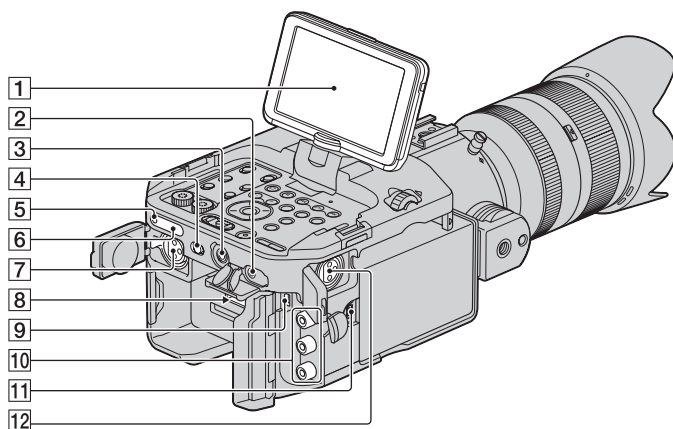
- 16 レンズフード(18)(NEX-FS100JKのみ)
- 17 レンズ(18)(NEX-FS100JKのみ)

ショルダーストラップ(別売)を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。



各部のなまえ(つづき)



1 液晶画面・タッチパネル(14)

2 REMOTE 端子

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

3 \odot (ヘッドホン)端子

ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。

4 HEADPHONE MONITOR スイッチ
(36)

5 後部録画ランプ(80)

記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

6 リモコン受光部(80)

7 INPUT 2端子(11)

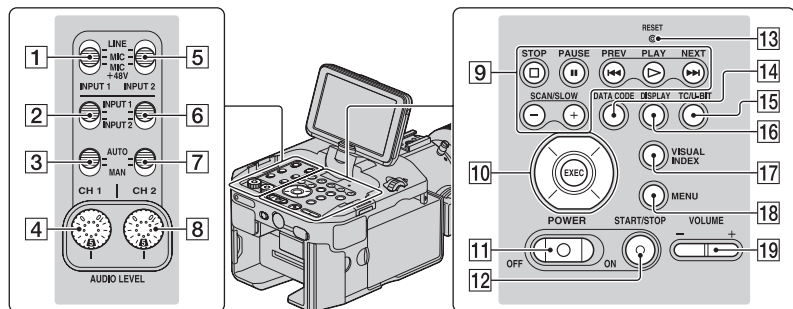
8 HDMI OUT端子(55)

9 COMPONENT OUT端子(55)

10 VIDEO OUT 端子/AUDIO OUT 端子
(55、86)

11 Ψ USB端子(82、87)

12 INPUT 1端子(11)



- 1 INPUT 1 スイッチ (35)
- 2 CH 1 (INPUT1/INPUT2) スイッチ (35)
- 3 CH 1 (AUTO/MAN) スイッチ (35)
- 4 AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル (35)
- 5 INPUT 2 スイッチ (35)
- 6 CH 2 (INPUT1/INPUT2) スイッチ (35)
- 7 CH 2 (AUTO/MAN) スイッチ (35)
- 8 AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル (35)
- 9 再生操作ボタン (PREV/PLAY*/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOW) (49)
- 10 ▲/▼/◆/▶/EXEC ボタン (64)
- 11 POWER スイッチ (21)
- 12 START/STOP ボタン (27)
- 13 RESET ボタン

RESET ボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロフィールで設定した内容は解除されません。

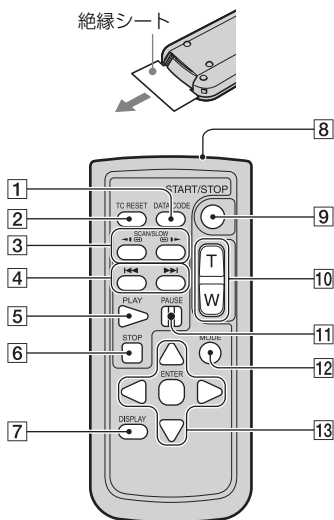
- 14 DATA CODE ボタン (53)
- 15 TC/U-BIT ボタン
液晶画面のタイムコード、ユーザービット表示を切り換えます。
- 16 DISPLAY ボタン (53)

- 17 VISUAL INDEX ボタン (49)
- 18 MENU ボタン (21, 64)
- 19 VOLUME ボタン* (49)

* VOLUME の + ボタン、PLAY ボタンに凸点 (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



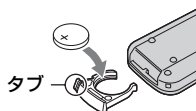
- ① DATA CODEボタン(53)
- ② TC RESETボタン(43)
- ③ SCAN/SLOWボタン(49)
- ④ ◀▶(PREV/NEXT)ボタン(49)
- ⑤ PLAYボタン(49)
- ⑥ STOPボタン(49)
- ⑦ DISPLAYボタン(53)
- ⑧ リモコン発光部
- ⑨ START/STOPボタン(27)
- ⑩ ズームボタン
本機では使用できません。
- ⑪ PAUSEボタン(49)
- ⑫ MODEボタン
- ⑬ ◀/▶/▲/▼/ENTERボタン

④ リモコンについてのご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

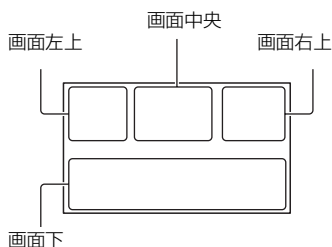
リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示



画面左上

表示	意味
100%	バッテリー残量
1080/60i	SET (28)、 REC FORMAT (28)
	WIDE REC (71)

画面中央

表示	意味
	記録メディア
REC STBY	撮影状態(26)
	警告(96)
	再生表示(49)

画面右上

表示	意味
0min	記録残量時間の目安
	記録/再生メディア
00:00:00.00	タイムコード(時:分:秒:フレーム)

画面下

表示	意味
	GPS測位状況(42)
	PEAKING (74)
	ZEBRA (74)
	STEADYSHOT (70)
	手動フォーカス(29)
~	ピクチャープロフィール (37)
F3.5	アイリス(31)
9dB	ゲイン(31)
60	シャッタースピード(32)
	手動音量調節(35)
	AUDIO FORMAT (72)
-2.0EV	AE SHIFT (69)
	自動設定(75)
	ホワイトバランス(33)
	ヒストグラム(74)

☝ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時にDATA CODEボタンを押すと確認できます(53ページ)。

索引

ア行

アイリスリング	31
アイリス	31
アクセサリシュー	15
アクセスランプ	24
アフターサービス	110
インフォリチウムバッテリー	104
大型アイカップ	13
屋外	33
屋内	33
お知らせメッセージ	97
主な仕様	108
音量	36, 51

カ行

海外で使う	100
拡大フォーカス	30
画面表示	117
画面表示出力	76
管理ファイル	63
記録画質	28
グリップ	12
警告表示	96
ゲイン	31
ゲインスイッチ	31
結露	105
故障かな?と思ったら	89
コンセント	17

サ行

再生	49
削除	60
撮影	26
自己診断表示	96
視度調整リング	13
シャッタースピード	32
充電時間	17
充電ランプ	16
準備	8
商標	121
初期化	62

ショルダーストラップ	113
ズーム	29
ステータスチェック	54
スロー&クイックモーション	45
静止画作成	58
絶縁シート	116
接続	
外付けメディアに	82
テレビに	55
パソコンに	87
ブルーレイディスクレコーダーに	84
レコーダーに	86
DVDライターに	85
接続コード	17
測定情報	42

タ行

テレビ	55
テレビ方式	100
電源コード	16
同時記録	27
ドロップフレーム	77

ナ行

内蔵充電式電池	106
---------	-----

ハ行

バッテリー	16
ピクチャープロファイル	37
日付時刻	22, 117
日付時刻合わせ	21
ピント	29
フォーカスリング	30
プッシュオートフォーカス	30
ブラックバランス	34
フラッシュメモリーユニット	25
フラッシュメモリーユニット端子	25
プロテクト	57
分割	59

ヘッドホン端子	114
保証書	110
ボタン電池	116
ホワイトバランス	33
ホワイトバランスメモリースイッチ	33

マ行

メニュー	64
一覧	66
AUDIO SET	72
CAMERA SET	69
DISPLAY SET	74
EDIT	68
OTHERS	78
REC/OUT SET	71
TC/UB SET	77
メニューの使いかた	64
メモリーカード	103
入れる/取り出す	23
メモリーカードスロット	24
“メモリースティック”	104
“メモリースティック PRO デュオ”	104

ラ行

ラストシーンレビュー	47
リチャージャブルバッテリーパック	バッテリーへ
リモコン	80, 116
リモコン受光部	114
レンズ	18, 106
録画	26
録画ランプ	26

ワ行

ワイヤレスリモコン	リモコンへ
-----------	-------

A

ACアダプター/チャージャー	16
----------------	----

ACTIVE	70
AE SHIFT	69, 92
AGC LIMIT	69
AREA SET	78
ASPECT	75
ASSIGN BUTTON	48
ASSIGNボタン	47
AUDIO LEVEL DISPLAY	76
AUDIO LEVEL(CH1/CH2)ダイヤル	36
AUDIO LIMIT	72
AUDIO SETメニュー	72
AUTO AREA ADJ	80
AUTO CLOCK ADJ	79
AUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチ	36
B	
BATT RELEASEボタン	17
BEEP	80
BLACK GAMMA	39
BLACK LEVEL	39
C	
CALIBRATION	106
CAMERA DATA DISPLAY	75
CAMERA SETメニュー	69
CENTER	75
CLOCK SET	21
COLOR BAR	70, 92
COLOR DEPTH	40
COLOR LEVEL	40
COLOR MODE	40
COLOR PHASE	40
COPY	61
D	
DATA CODEボタン	53
DATE REC	80
DELETE	60
DETAIL	41

DF	77
DISPLAY OUTPUT	76
DISPLAY SETメニュー	74
DISPLAYボタン	53
DIVIDE	59
DOWN CONVERT TYPE	71
E	
EXPANDED FOCUS	30
F	
FOCUSスイッチ	30
FREE RUN	77
G	
GAIN SET	69
GAINボタン	31
GAMMA	39
GPS	42
GPS INFORMATION	79
GUIDEFRAAME	75
H	
HD AUDIO FORMAT	72
HD REC FORMAT	28
HD/SD SET	28
HDMI/COMPONENT	71
HEADPHONE OUT	73
HISTOGRAM	74
I	
INDOOR	33
InfoLITHIUMバッテリー	104
INPUT 1スイッチ	35
INPUT 1端子	35
INPUT 2スイッチ	35
INPUT 2	35
INPUT1 TRIM	73
INPUT1 WIND	73
INPUT2 TRIM	73
INPUT2 WIND	73

IRIS PUSH AUTOボタン	31
IRISボタン	31
K	
KNEE	39
L	
LANGUAGE	79
LAST SCENEボタン	47
LCD BLIGHT	76
M	
MANU WB TEMP	33
MARKER	75, 92
MEDIA FORMAT	62
MENUボタン	21, 64
MIC+48V	35
N	
NDF	77
NTSC	100
O	
one pushボタン	34
OPERATION TIME	81
OTHERSメニュー	78
OUTDOOR	33
P	
PEAKING	74, 92
PHOTO CAPTURE	58
PICTURE PROFILEボタン	37
POWERスイッチ	21
PROTECT	57
PUSH AUTOボタン	30
R	
REC LAMP[F]	80
REC LAMP[R]	80
REC RUN	77
REC SET	71

索引(つづき)

REC/OUT SETメニュー ..	71
REMOTE CONTROL	80
REPAIR IMAGE DB FILE	63
RESET ボタン	115

S

S&Q ボタン	46
SAFETY ZONE	75
SD WIDE REC	71
SEL/PUSH EXECダイヤル	21, 64
SHUTTER SPEED ボタン	32
SMOOTH SLOW REC	44
START/STOP ボタン	26
STATUS CHECK ボタン	54
STEADYSHOT	70
SUMMERTIME	78

T

TC FORMAT	77
TC MAKE	77
TC PRESET	43, 92
TC RUN	77
TC/UB SETメニュー	77
TC/U-BIT ボタン	115
TONE	70

U

UB PRESET	43
UB TIME REC	78
USB CONNECT	81

V

VIDEO OUT	71
VISUAL INDEX ボタン	49
VOLUME ボタン	51

W

WB OUTDOOR LEVEL	69
------------------------	----

WB PRESET	69
WB SHIFT	41
WB TEMP SET	69
WHT BAL ボタン	33


X

XLR AGC LINK	73
XLR SET	73

Z

ZEBRA	74, 92
ZOOM DISPLAY	76

商標について

- 「NXCAM」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- 「Memory Stick」、「メモリスティック」、、「メモリスティック デュオ」、「MEMORY STICK Duo」、「メモリスティック PRO デュオ」、「MEMORY STICK PRO Duo」、「メモリスティック PRO-HG デュオ」、「MEMORY STICK PRO-HG Duo」、「マジックゲート」、「MAGIC GATE」、「MagicGate Memory Stick」、「マジックゲート メモリスティック」、「MagicGate Memory Stick Duo」、「マジックゲート メモリスティック デュオ」はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- DVDirectはソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™及びBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows VistaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMedia Cardは、MultiMediaCard Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダーにある「license3.pdf」をご覧ください。「C Library」、「zlib」、「libjpeg」の記載(英文)が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードするには、以下のURLにアクセスし、モデル名NEX-FS100Jをお選びください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROM「Content Management Utility」の「License」フォルダーにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.adobe.com/>

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>



4279231030